

## 次期総合計画策定に伴う市民意向の把握について

1. 次期亀山市総合計画策定に向けた市民意向調査の結果について【P.2～P.29】
  - 市民アンケート調査【定点観測】
  - 小学生アンケート調査
  - 中学生アンケート調査
  - 高校生アンケート調査
  - 市民アンケート調査【幸福度・満足度編(Well-Being)】
2. 地域・関係団体へのヒアリングの結果について【P.30～P.32】
  - 地域まちづくり協議会へのヒアリング
  - 亀山市社会福祉協議会(CSW)へのヒアリング
  - 亀山商工会議所へのヒアリング
3. 移住者へのヒアリング結果について【P.33～P.35】
4. 亀山の未来を考える「カメトーク」の結果について【P.36～P.41】
5. 次期総合計画策定に向けた「市民フォーラム」の結果について【P.42～P.47】

### <参考資料>

- **資料1** 市民アンケート調査報告書【定点観測】
- **資料2** 小学生・中学生・高校生アンケート調査報告書
- **資料3** 市民アンケート調査報告書【幸福度・満足度編(Well-Being)】

## 1. 次期亀山市総合計画策定に向けた市民意向調査の結果について

本市においては、今年度末をもって市の最上位計画である第2次総合計画の計画期間が終了するため、令和8年度を始期とする次期総合計画の策定に向けた取り組みを進めています。

今回、次期総合計画の策定に向けた基礎資料とするため、市民意向調査を実施しました。その調査結果の概要については、以下のとおりとなっています。調査結果の詳細については報告書本冊をご覧ください。

### 1)市民アンケート調査【定点観測】

- ・ 18歳以上の市民 1,200 名に郵送配布
- ・ 回答数:495件

### 2)小学生アンケート調査

- ・ 市内小学校の5年生を対象に実施
- ・ 回答数:430件

### 3)中学生アンケート調査

- ・ 市内中学校の2年生を対象に実施
- ・ 回答数:549件

### 4)高校生アンケート調査

- ・ 亀山高等学校の2年生を対象に実施
- ・ 回答数:104件(市内在住:40件・市外在住:63件・不明1件)

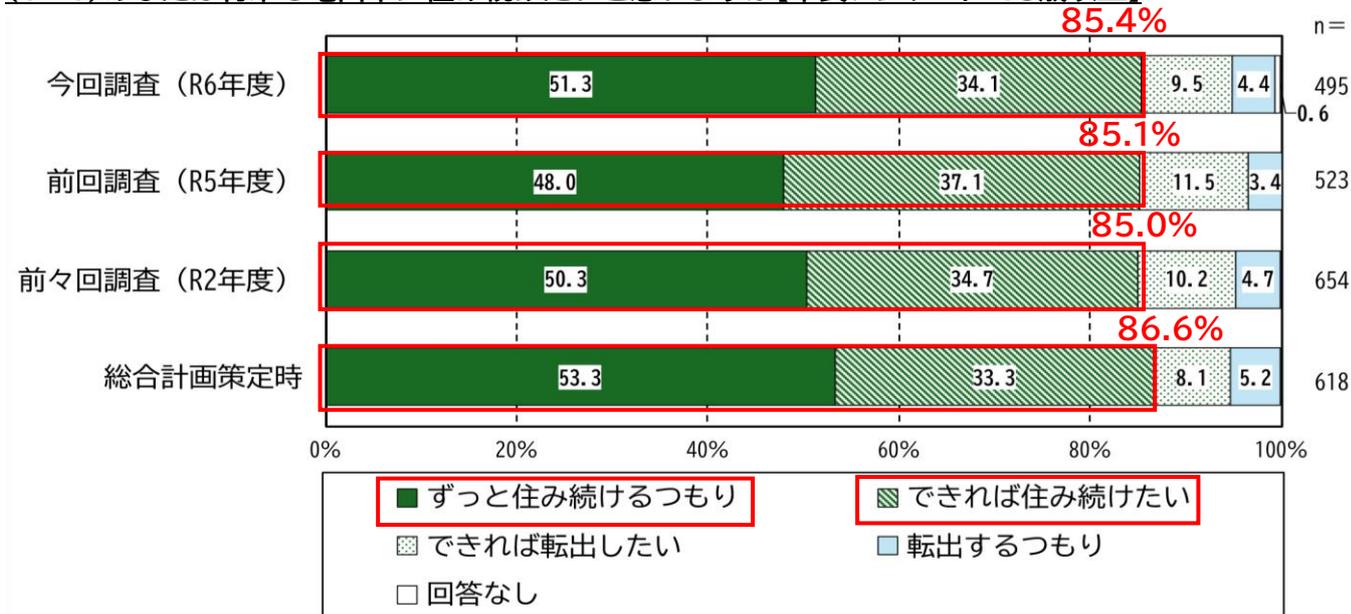
### 5)市民アンケート調査【幸福度・満足度編(Well-Being)】

- ・ 18歳以上の市民 1,400 名に郵送配布
- ・ 回答数:565件

<市民アンケート調査【定点観測】、小学生、中学生、高校生アンケートまとめ>

●(1)亀山市での定住意向について

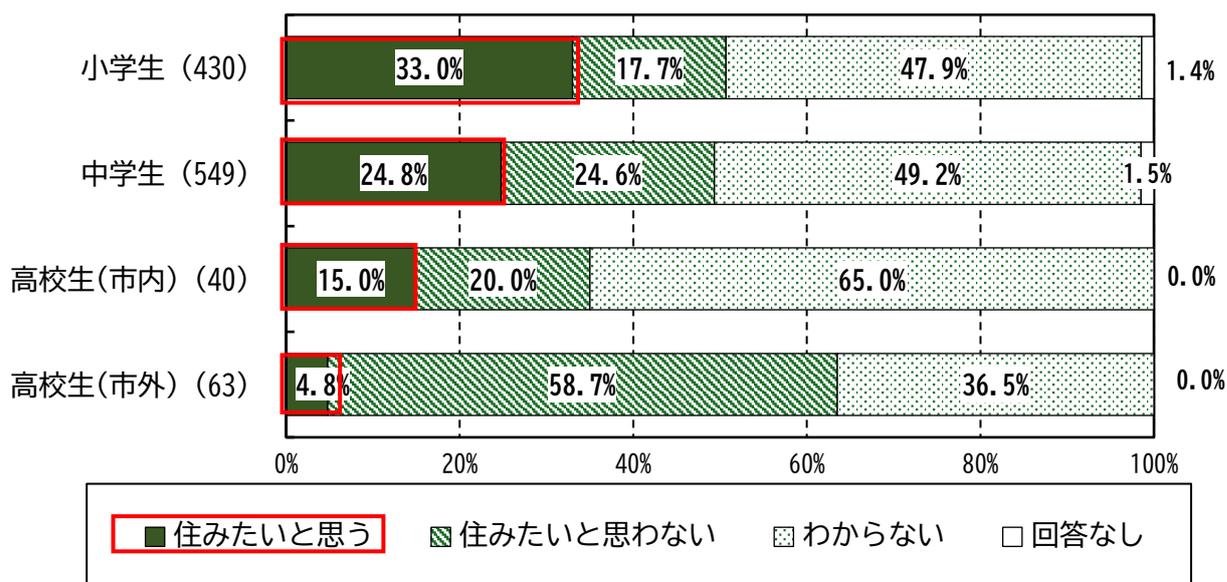
(1-1)あなたは将来も亀山市に住み続けたいと思いますか【市民アンケート・18歳以上】



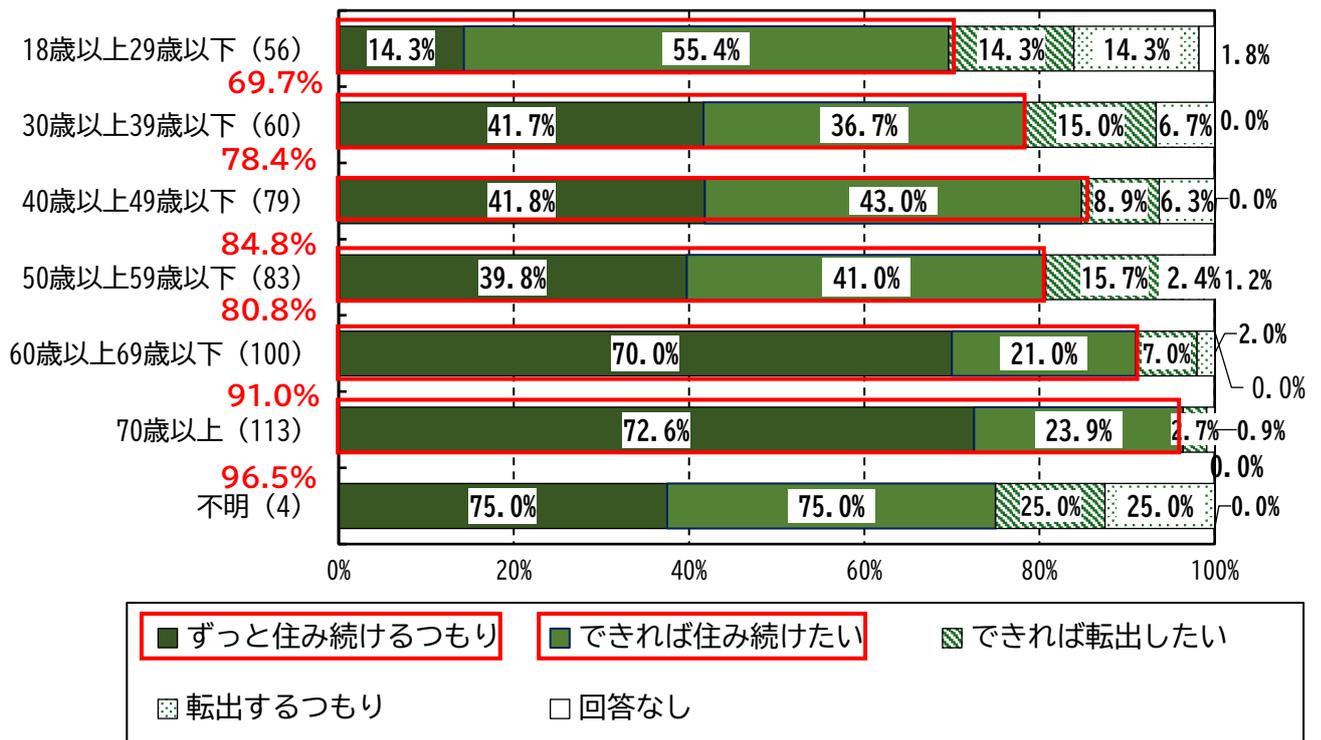
○亀山市での定住意向については、「ずっと住み続けるつもり」または「できれば住み続けたい」と回答した市民が全体の85.4%を占めています。第2次総合計画策定時からほぼ変化がなく推移しています。

(1-2)年齢区分ごとの将来の定住意向

①大人になっても亀山市に住みたいと思いますか【小・中学生・高校生アンケート】

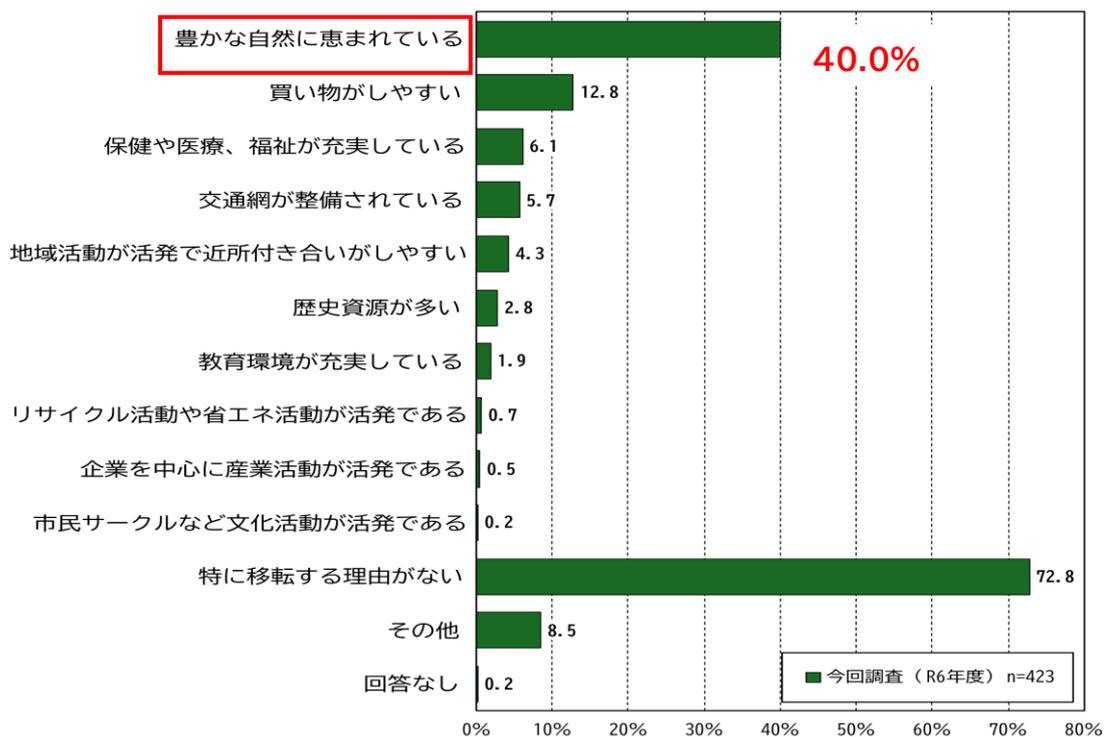


②将来も亀山市に住み続けたいと思いますか【市民アンケート・18歳以上】

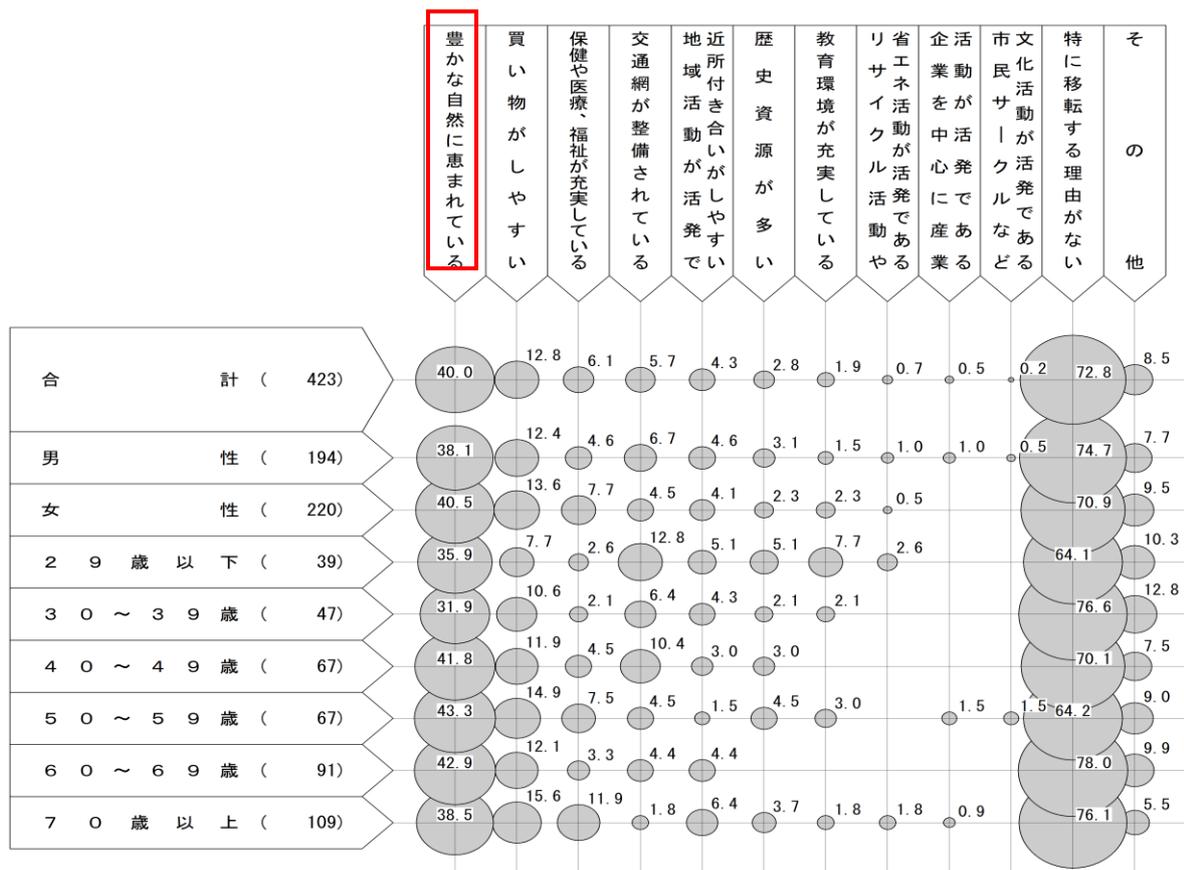


○年齢区分ごとの亀山市での定住意向については、「**住みたいと思う**」割合が小学生の33.0%から年齢が上がるごとに低くなっている一方、市民アンケートにおける、18歳以上の定住意向は、69.7%と高くなっています。また、年齢があがるごとに定住意向が高くなっており、70歳以上では、96.5%と最も高くなっています。

(1-3-1) 亀山市に「住み続けたい」と思う理由【市民アンケート・18歳以上】（回答数:423）



<年齢・性別毎>



○市民アンケート調査(18歳以上)における『亀山市に「住み続けたい」と思う理由』としては、「特に移転する理由がない」を除くと、「**豊かな自然に恵まれている**」が**40.0%**、次いで「買い物がしやすい」が12.8%となっています。

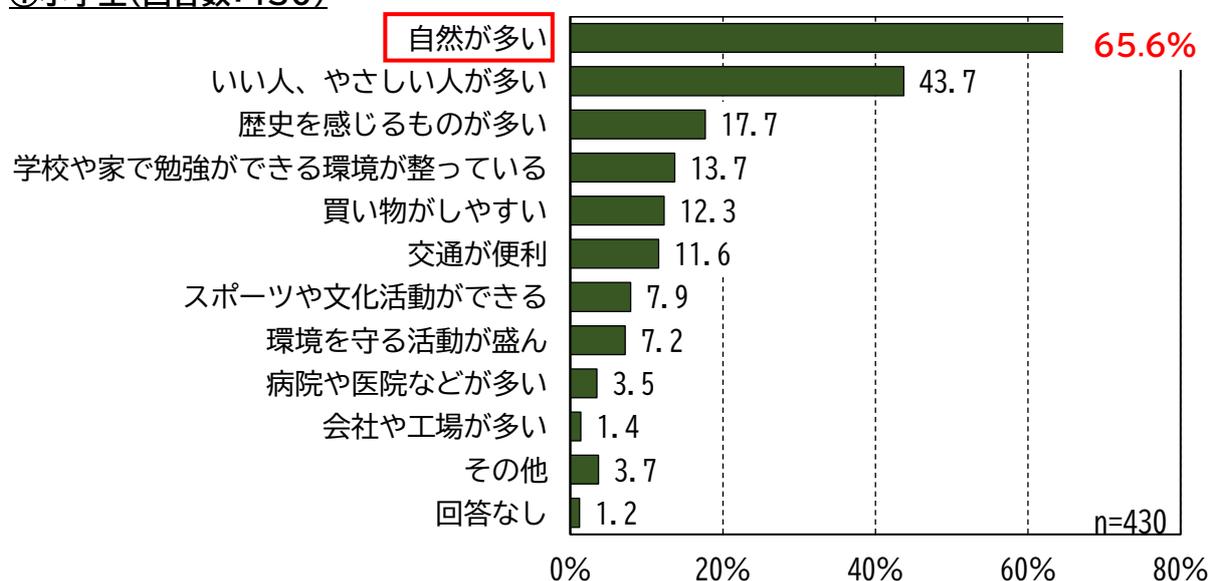
○属性別の『亀山市に「住み続けたい」と思う理由』は、「特に移転する理由がない」を除くと、「**豊かな自然に恵まれている**」が男女別、年齢別のどの階層でも最も高くなっています。

○男女別では、「買い物がしやすい」「保健や医療、福祉が充実している」「教育環境が充実している」は女性の方が高くなっています。

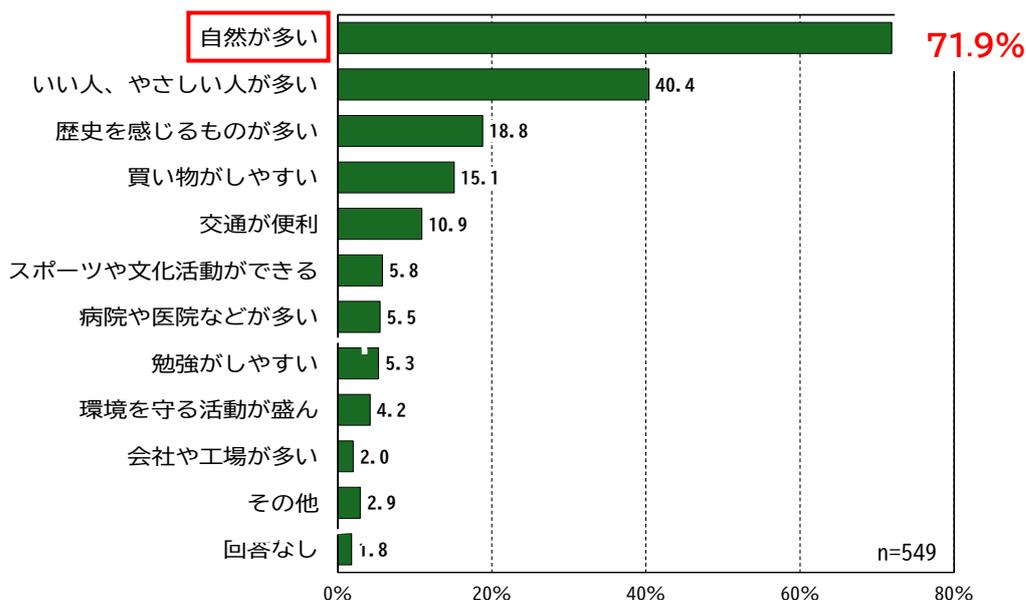
○年齢別では、「買い物がしやすい」「保健や医療、福祉が充実している」は、70歳以上が最も高くなっています。

### (1-3-2) 亀山市が住みやすいと思うところ

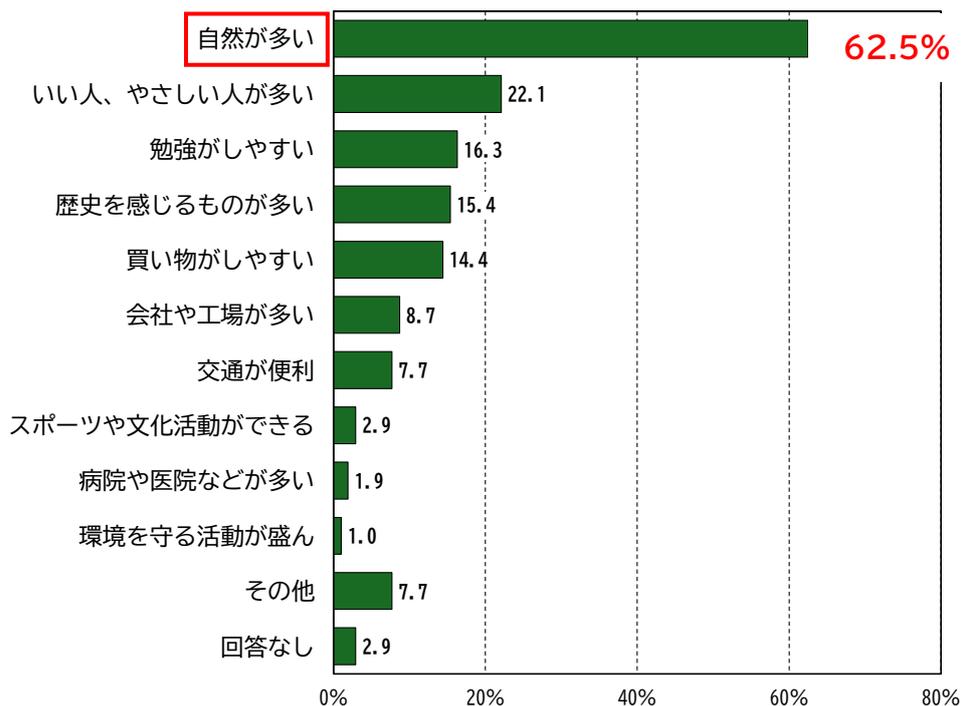
#### ①小学生(回答数:430)



#### ②中学生(回答数:549)



### ③高校生(回答数:104)



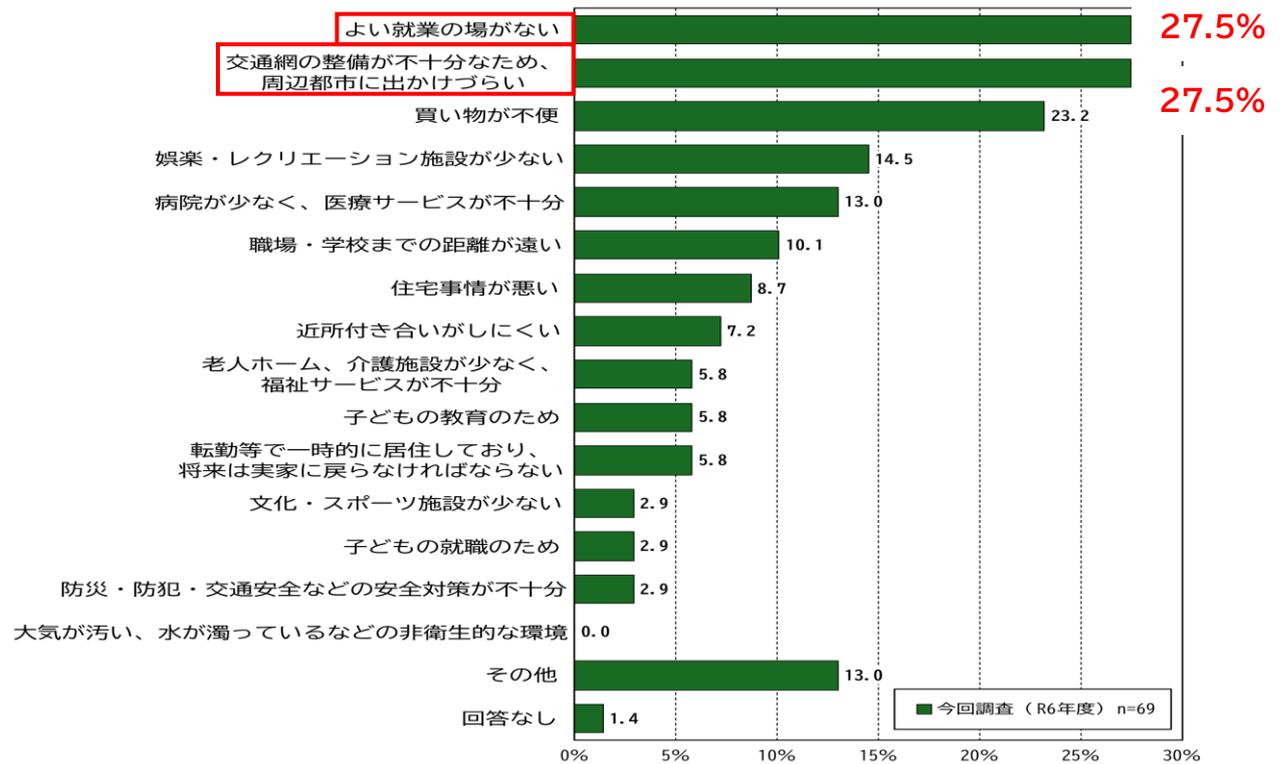
○「亀山市が住みやすいと思うところ」は、小学生、中学生、高校生ともに「自然が多い」が最も高くなっています。次いで「いい人、やさしい人が多い」が小学生、中学生、高校生ともに高くなっています。



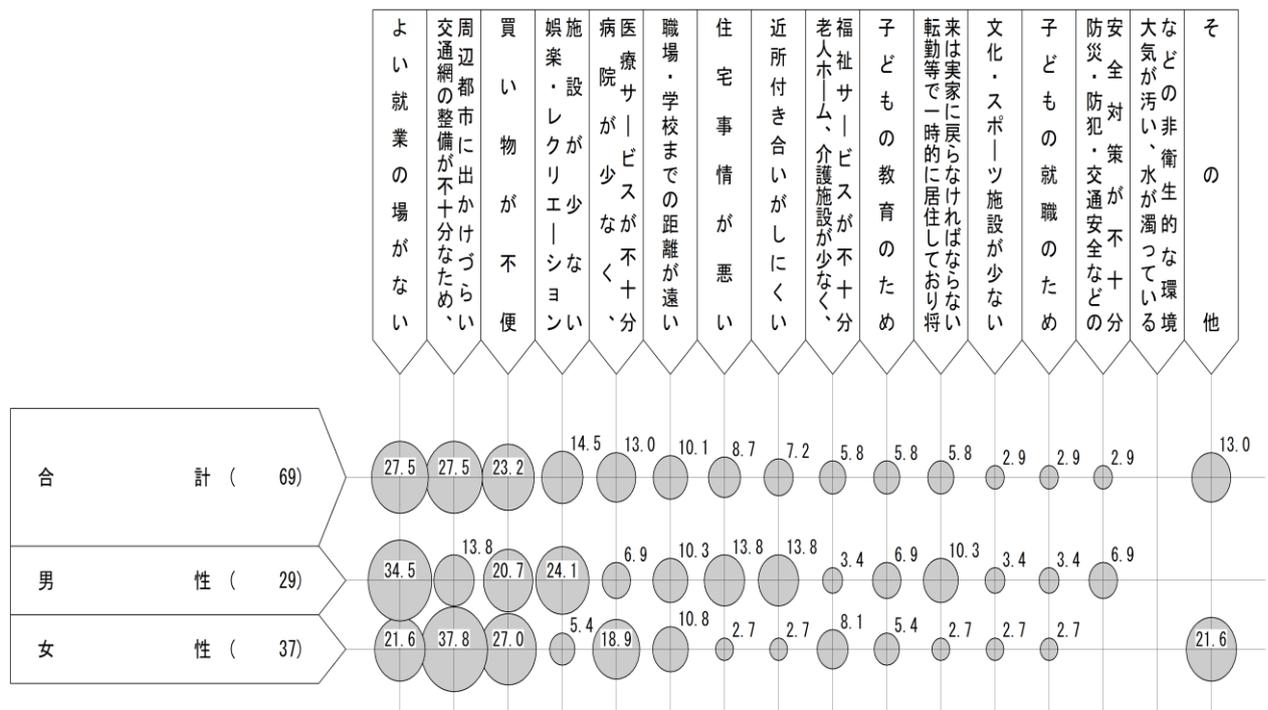
#### 【亀山市に住み続けたい・住みやすいと思う理由】

○亀山市に住み続けたい・住みやすいと思う理由として、全ての年齢層で「自然が多い」が最も高くなっています。

(1-4-1) 亀山市から「転出したい」と思う理由【市民アンケート・18歳以上】 (回答数:69)



<性別毎>



※回答数が少なく、年齢別の比較分析ができないため、男女別分析のみとなっています。

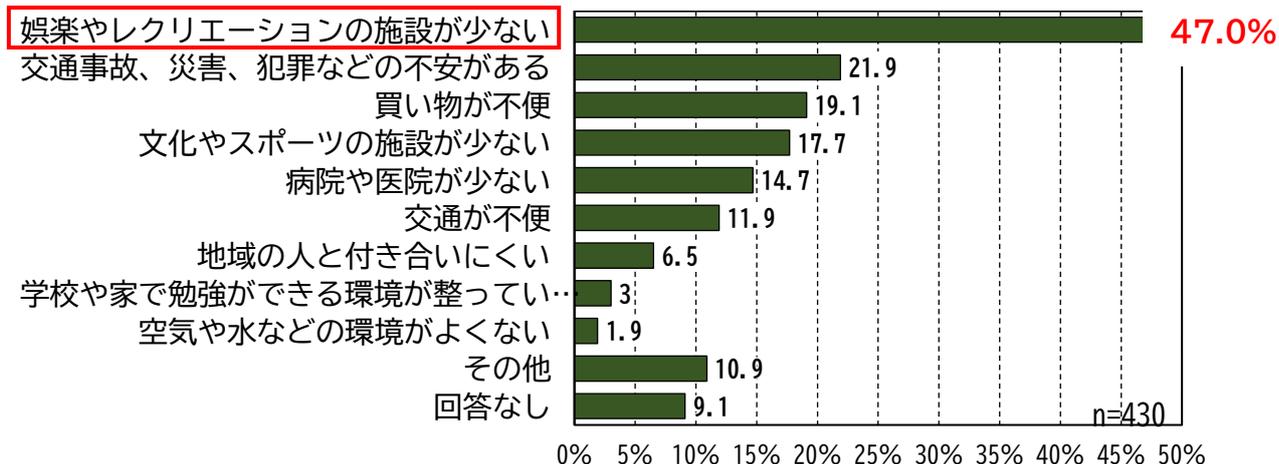
○市民アンケート調査(18歳以上)における『亀山市から「転出したい」と思う理由』としては、「**よい就業場所がない**」、「**交通網の整備が不十分なため、周辺都市に出かけづらい**」が**27.5%**と高くなっています。

○『亀山市から「転出したい」と思う理由』は、全体では、「**よい就業場所がない**」、「**交通網の整備が不十分なため、周辺都市に出かけづらい**」が同じ割合で最も高くなっていますが、男女別では、「よい就業場所がない」は男性が高く、「交通網の整備が不十分なため、周辺都市に出かけづらい」は女性が高くなっています。

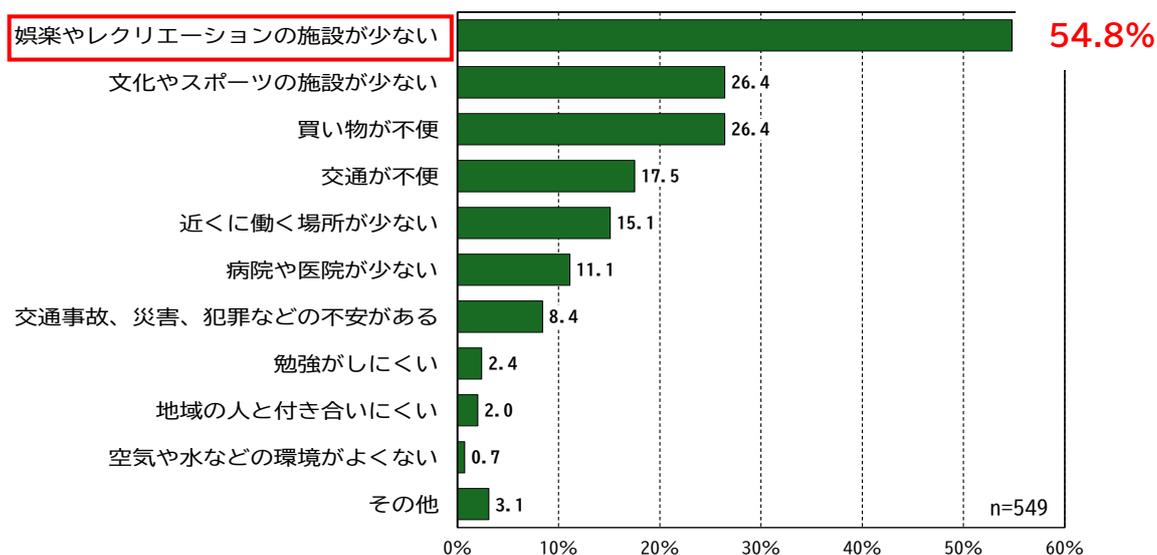
○他にも「**娯楽・レクリエーション施設が少ない**」「**住宅事情が悪い**」「**近所付き合いがしにくい**」「**子どもの教育のため**」「**転勤等で一時的に居住しており、将来は実家に戻らなければならない**」「**子どもの就職のため**」「**防災・防犯・交通安全などの安全対策が不十分**」では男性が高くなっています。

## (1-4-2) 亀山市が住みにくいと思うところ

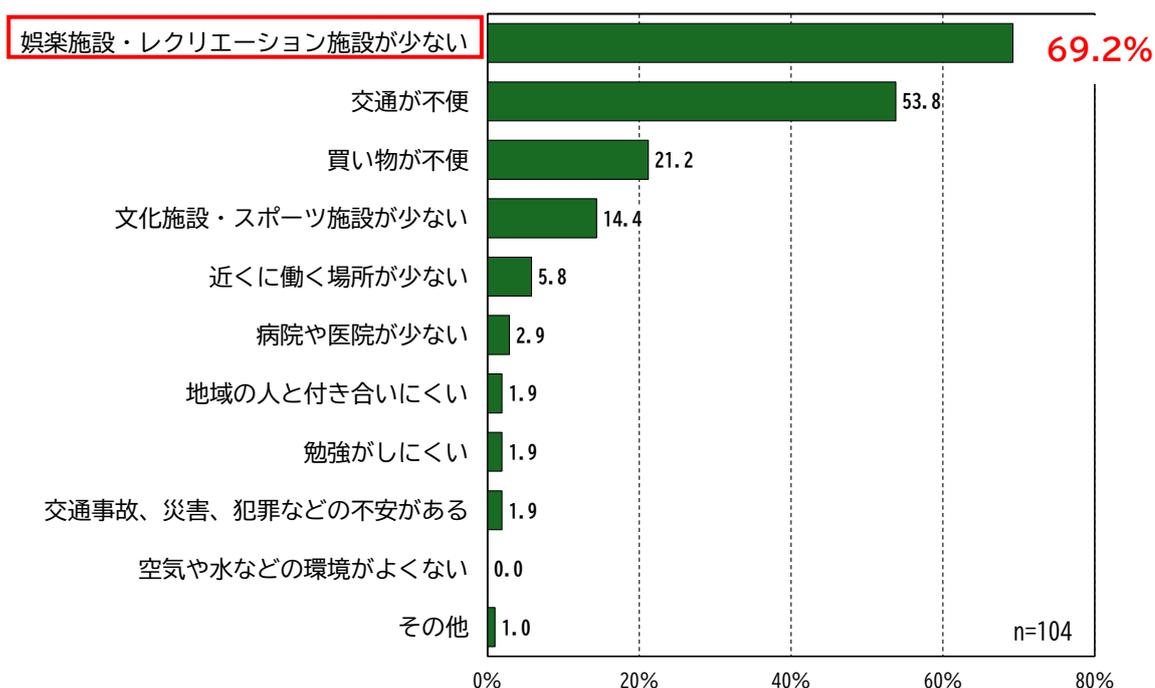
### ①小学生(回答数:430)



### ②中学生(回答数:549)



### ③高校生(回答数:104)



○「亀山市が住みにくいと思うところ」は、小学生、中学生、高校生ともに「**娯楽施設・レクリエーション施設が少ない**」が最も高く、次いで小学生では、「**交通事故・災害・犯罪などの不安がある**」、中学生では、「**文化やスポーツの施設が少ない**」「**買い物が不便**」、高校生では「**交通が不便**」が高くなっています。



#### 【亀山市から転出したい・住みにくいと思う理由】

- 亀山市から転出したい・住みにくいと思う理由として、小学生、中学生、高校生では「**娯楽施設・レクリエーション施設が少ない**」が最も高く、18歳以上でも比較的高くなっています。
- 高校生以上では、交通に関する不便さに対する回答が多くなっています。

●(2)亀山市の暮らしの現状について

(2-1)亀山市は住みやすいと感じるか

(%)

	n	はい	どちらか と い え ば はい	「はい」+ 「どちらか と い え ば はい」	どちらと も い え ない	どちらか と い え ば いいえ	いいえ	わからない	回答なし
小学生	430	64.7	21.4	86.1	7.2	2.3	2.1	2.3	0.0
中学生	549	47.0	32.1	79.1	12.4	3.1	4.0	1.5	0.0
高校生 (市内)	40	20.0	47.5	67.5	15.0	12.5	2.5	2.5	0.0
18歳以上 29歳以下	56	25.0	37.5	62.5	17.9	7.1	10.7	1.8	0.0
30歳以上 39歳以下	60	33.3	36.7	70.0	16.7	6.7	6.7	0.0	0.0
40歳以上 49歳以下	79	29.1	36.7	65.8	16.5	10.1	6.3	1.3	0.0
50歳以上 59歳以下	83	21.7	42.2	63.9	19.3	8.4	7.2	1.2	0.0
60歳以上 69歳以下	100	21.0	47.0	68.0	19.0	7.0	5.0	1.0	0.0
70歳以上	113	32.7	32.7	65.4	19.5	8.8	3.5	0.9	1.8
不明	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

○亀山市は住みやすいと感じるかについては、「はい」と回答した人の割合は、小学生の64.7%で最も高く、高校生以上の年代では低くなっています。

○「はい」と回答した人の割合の中で高校生は20.0%と最も低いが、「どちらかといえばはい」と回答した割合は47.5%と最も高くなっています。

○「はい」と「どちらかといえばはい」をあわせた「亀山市は住みやすい」と感じている人は、小学生の86.1%で最も高く、全ての年代で60%以上の人が「亀山市は住みやすい」と回答しています。

(2-2) 亀山市が好きか(愛着があるか)

① 亀山市が好きか

(%)

	n	はい	どちらか といえは はい	「はい」+ 「どちらか といえは はい」	どちらと もいえ ない	どちらか といえは いいえ	いいえ	わから ない	回答なし
小学生	430	53.0	26.5	79.5	12.6	2.1	2.6	2.8	0.5
中学生	549	42.1	28.1	70.2	19.1	4.0	4.7	1.6	0.4
高校生	104	15.4	30.8	46.2	28.8	5.8	13.5	4.8	1.0

② 亀山市に愛着を持っていますか

(%)

	n	はい	どちらか といえは はい	「はい」+ 「どちらか といえは はい」	どちらと もいえ ない	どちらか といえは いいえ	いいえ	わから ない	回答なし
18歳以上 29歳以下	56	35.7	30.4	66.1	14.3	5.4	12.5	1.8	0.0
30歳以上 39歳以下	60	25.0	35.0	60.0	16.7	5.0	15.0	3.3	0.0
40歳以上 49歳以下	79	26.6	40.5	67.1	16.5	8.9	5.1	2.5	0.0
50歳以上 59歳以下	83	21.7	28.9	50.3	30.1	3.6	10.8	3.6	1.2
60歳以上 69歳以下	100	28.0	45.0	73.0	21.0	3.0	1.0	2.0	0.0
70歳以上	113	37.2	33.6	70.8	17.7	5.3	3.5	0.0	2.7
不明	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

○亀山市が好きかについては、「はい」と回答した人の割合は、小学生の53.0%で最も高く、高校生の15.4%が最も低くなっています。一方、「どちらかといえははい」と回答した人の割合は、高校生の30.8%が最も高くなっています。

○「はい」と「どちらかといえははい」と回答した割合をあわせた「亀山市が好きだ」と感じている割合は、小学生の79.5%が最も高く、高校生の46.2%が最も低くなっています。

○亀山市に愛着を持っているかについては、「はい」と回答した人の割合は、70歳以上の37.2%で最も高く、50歳代の21.7%が最も低くなっています。また、「どちらかといえははい」と回答した人の割合は、60歳代の45.0%が最も高くなっています。

○「はい」と「どちらかといえははい」と回答した割合をあわせた「亀山市に愛着を持っている」と感じている割合は、60歳代の73.0%が最も高く、30歳代の60.0%が最も低くなっています。

(2-3) 亀山市を他の人に自慢できるか(誇りを感じるか)

① 亀山市を他の人に自慢できるか

(%)

	n	はい	どちらか といえ ばはい	「はい」+ 「どちらか といえ ばはい」	どちらと もいえ ない	どちらか といえ ばいい	いいえ	わから ない	回答なし
小学生	430	36.0	25.8	61.8	20.0	4.7	7.9	5.1	0.5
中学生	549	19.5	23.1	42.6	33.3	8.2	11.5	3.3	1.1
高校生	104	4.8	13.5	18.3	35.6	12.5	26.0	6.7	1.0

② 亀山市に誇りを持っていますか

(%)

	n	はい	どちらか といえ ばはい	「はい」+ 「どちらか といえ ばはい」	どちらと もいえ ない	どちらか といえ ばいい	いいえ	わから ない	回答なし
18歳以上 29歳以下	56	12.5	26.8	39.3	30.4	5.4	21.4	3.6	0.0
30歳以上 39歳以下	60	11.7	18.3	30.0	33.3	10.0	20.0	6.7	0.0
40歳以上 49歳以下	79	12.7	22.8	35.5	41.8	10.1	7.6	5.1	0.0
50歳以上 59歳以下	83	13.3	18.1	31.4	39.8	7.2	14.5	6.0	1.2
60歳以上 69歳以下	100	13.0	33.0	46.0	44.0	4.0	4.0	2.0	0.0
70歳以上	113	19.5	30.1	49.6	31.0	9.7	3.5	2.7	3.5
不明	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

○ 亀山市を他の人に自慢できるかについては、「はい」と回答した人、「どちらかといえればはい」と回答した人のいずれの割合も小学生が最も高くなっています。一方、高校生では、いずれの割合も最も低くなっています。

○ 亀山市に誇りを持っているかについては、「はい」と回答した人の割合は、70歳以上の19.5%で最も高く、30歳代の11.7%が最も低くなっています。また、「どちらかといえればはい」と回答した人の割合は、60歳代の33.0%が最も高くなっています。

○ 「はい」と「どちらかといえればはい」と回答した割合をあわせた「亀山市に誇りを持っている」と感じている割合は、70歳以上の49.6%が最も高く、30歳代の30.0%が最も低くなっています。

## (2-4)現状の生活に満足しているか

(%)

	n	はい	どちらか と い え ば はい	「はい」+ 「どちらか と い え ば はい」	どちら と も い え な い	どちらか と い え ば いいえ	いいえ	わからな い	回答なし
小学生	430	62.8	20.2	83.0	7.4	2.8	3.7	1.9	1.2
中学生	549	48.1	29.1	77.2	13.1	4.9	2.0	1.0	1.6
高校生	104	27.9	38.5	66.4	20.2	4.8	6.7	1.0	1.0
18歳以上 29歳以下	56	25.0	25.0	50.0	17.9	23.2	7.1	1.8	0.0
30歳以上 39歳以下	60	16.7	31.7	48.4	28.3	8.3	15.0	0.0	0.0
40歳以上 49歳以下	79	13.9	30.4	44.3	26.6	11.4	13.9	3.8	0.0
50歳以上 59歳以下	83	12.0	33.7	45.7	19.2	9.6	18.1	4.8	2.4
60歳以上 69歳以下	100	14.0	46.0	60.0	27.0	8.0	5.0	0.0	0.0
70歳以上	113	25.7	30.1	55.8	29.2	7.1	5.3	0.9	1.8
不明	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

○現状の生活に満足しているかについては、「はい」と回答した人の割合は、小学生の62.8%で最も高くなっています。

○30歳代から60歳代では、「はい」と回答した割合は、10%台と低くなっていますが、「どちらかといえばはい」と回答した割合は、30%以上となっており、60歳代の46.0%で最も高くなっています。

○「はい」と「どちらかといえばはい」をあわせた「現状の生活に満足している」と感じている人は、小学生の83.0%で最も高く、40歳代の44.3%が最も低くなっています。

## (2-5)安心して生活できている

(%)

	n	はい	どちらか といえ ばはい	「はい」+ 「どちらか といえ ばはい」	どちら とも いえ ない	どちらか といえ ばいい え	いいえ	わから ない	回答なし
小学生	430	68.8	17.7	86.5	8.1	1.6	0.9	1.9	0.9
中学生	549	58.3	28.6	86.9	8.9	1.6	1.1	0.9	0.4
高校生	104	43.3	38.5	81.8	9.6	2.9	3.8	1.0	1.0
18歳以上 29歳以下	56	17.9	41.1	59.0	28.6	5.4	5.4	1.8	0.0
30歳以上 39歳以下	60	6.7	30.0	36.7	38.3	6.7	13.3	5.0	0.0
40歳以上 49歳以下	79	8.9	25.3	34.2	38.0	12.7	12.7	2.5	0.0
50歳以上 59歳以下	83	2.4	22.9	25.3	38.6	9.6	22.9	1.2	2.4
60歳以上 69歳以下	100	6.0	24.0	30.0	39.0	14.0	13.0	3.0	1.0
70歳以上	113	12.4	27.4	39.8	31.9	10.6	10.6	2.7	4.4
不明	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

- 安心して生活できているかについては、「はい」と回答した人の割合は、小学生の68.8%で最も高くなっており、中学生、高校生も比較的高くなっています。一方で18歳以上の全ての年代で「はい」と回答した割合は低くなっています。
- 「どちらかといえはい」と回答した割合では、18歳以上29歳以下の41.1%が最も高く、小学生の17.7%で最も低くなっています。
- 「はい」と「どちらかといえはい」をあわせた「安心して生活できている」と感じている人は、中学生の86.9%で最も高く、50歳代の25.3%が最も低くなっています。
- 「はい」と「どちらかといえはい」をあわせた「安心して生活できている」と感じている人は、小学生、中学生、高校生では、80%以上と高くなっていますが、30歳以上の全ての年代で40%以下と低くなっています。

## (2-6)家の近所の人とあいさつをしている

(%)

	n	はい	どちらか と い え ば はい	「はい」+ 「どちらか と い え ば はい」	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば い い え	い い え	わ か ら な い	回 答 な し
小学生	430	55.6	26.0	81.6	5.1	5.3	5.1	2.8	0.0
中学生	549	48.6	33.3	81.9	10.2	3.3	2.7	1.6	0.2
高校生	104	33.7	38.5	72.2	8.7	6.7	6.7	4.8	1.0
18歳以上 29歳以下	56	37.5	37.5	75.0	3.6	7.1	14.3	0.0	0.0
30歳以上 39歳以下	60	48.3	23.3	71.6	10.0	5.0	13.3	0.0	0.0
40歳以上 49歳以下	79	55.7	26.6	82.3	10.1	3.8	2.6	1.3	0.0
50歳以上 59歳以下	83	56.6	30.1	86.7	4.8	2.4	3.6	0.0	2.4
60歳以上 69歳以下	100	74.0	21.0	95.0	4.0	0.0	0.0	0.0	1.0
70歳以上	113	72.6	17.7	90.3	3.5	0.9	1.8	0.0	3.5
不明	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

○家の近所の人とあいさつをしているかについては、「はい」と回答した人の割合は、60歳代の74.0%で最も高く、高校生の33.7%で最も低くなっています。

○「どちらかといえばはい」と回答した人の割合では、高校生の38.5%が最も高くなっています。

○「はい」と「どちらかといえばはい」をあわせた「家の近所の人とあいさつをしている」人は、60歳代の95.0%で最も高く、最も低い30歳代でも71.6%と70%以上の人が「家の近所の人とあいさつをしている」と回答しています。

●(3)市民アンケート調査結果における満足度・重要度指数について

(3-1)現状の日常生活・個人に対する評価(満足度)

○現状の日常生活に対する28項目の指標に対して、評価得点により数値化して評価をしています。

○評価得点は、各指標の選択肢に対して、下記に示す点数をつけ得点合計を回答数で割って、平均点(評価得点)を算出しています。算出にあたっては、下記の式を用いています。なお、回答数は各項目における全回答数より無回答数「わからない」と回答された数を差し引いた値です。

【各選択肢に対する得点】

選択肢番号	日常生活の評価(満足度)	得点
1	はい	2
2	どちらかといえばはい	1
3	どちらともいえない	0
4	どちらかといえばいいえ	-1
5	いいえ	-2

【評価得点算出式】

$$\text{満足度} = \frac{\begin{matrix} \text{「はい」} \times 2 \text{点} + & \text{「どちらか} \\ & \text{といえば} \times 1 \text{点} + \\ & \text{はい} \end{matrix}}{\text{全回答数} - \text{無回答数} - \text{「わからない」}} + \frac{\begin{matrix} \text{「どちらと} \\ & \text{もいえない} \times 0 \text{点} + \\ & \text{い} \end{matrix}}{\text{全回答数} - \text{無回答数} - \text{「わからない」}} + \frac{\begin{matrix} \text{「どちらか} \\ & \text{といえば} \times -1 \text{点} + \\ & \text{いいえ} \end{matrix}}{\text{全回答数} - \text{無回答数} - \text{「わからない」}} + \frac{\begin{matrix} \text{「いいえ」} \times -2 \text{点} \end{matrix}}{\text{全回答数} - \text{無回答数} - \text{「わからない」}}$$

■まち全般(満足度)

項目	前回	今回	増減
(1)住みやすさ	0.86 →	0.74	-0.12
(2)亀山市に対する愛着	0.86 →	0.78	-0.08
(3)亀山市に対する誇り	0.38 →	0.27	-0.11

■生きがい(満足度)

項目	前回	今回	増減
(4)老後が安心	-0.75 →	-0.90	-0.15
(5)生きがいの有無	0.62 →	0.63	0.01
(6)差別がない日常生活	0.60 →	1.04	0.44
(7)現状に対する満足の有無	0.55 →	0.40	-0.15
(8)仕事に対する満足感	0.48 →	0.34	-0.14
(9)仕事と生活のバランス	0.60 →	0.45	-0.15

■健康(満足度)

項目	前回	今回	増減
(10)日常の運動実施状況	-0.34 →	-0.48	-0.14
(11)良好な健康状態の有無	0.30 →	0.29	-0.01
(12)かかりつけ医の有無	0.62 →	0.53	-0.09

■歴史・文化(満足度)

項目	前回	今回	増減
(13)文化について	-0.51 →	-0.46	0.05
(14)地域行事、イベントへの参加の有無	-0.73 →	-0.75	-0.02

■環境(満足度)

項目	前回	今回	増減
(15)環境に配慮した生活実施の有無	0.74 →	0.62	-0.12
(16)ごみの減量など心がけた生活実施の有無	0.84 →	0.79	-0.05

■安心・安全(満足度)

項目	前回	今回	増減
(17)日頃から災害に対する備えの有無	-0.04 →	0.02	0.06
(18)防災活動等への参加の有無	-0.79 →	-0.77	0.02
(19)日々の暮らしへの安心感の有無	0.13 →	0.09	-0.04

■地域との交流(満足度)

項目	前回	今回	増減
(20)近所づきあいの有無	1.38 →	1.36	-0.02
(21)相談できる人の有無	0.79 →	0.71	-0.08
(22)地域活動への参加の有無	0.24 →	0.19	-0.05
(23)地域活動における役割の有無	-0.87 →	-0.76	0.11

■市政情報・市民参画(満足度)

項目	前回	今回	増減
(24)広報既読の有無	0.86 →	0.73	-0.13
(25)市HPの利用有無	-0.26 →	-0.06	0.20
(26)市のシティプロモーション専用HP利用の有無	-1.69 →	-1.75	-0.06
(27)市のイベントへの参加の有無	-1.06 →	-1.01	0.05
(28)まちづくり基本条例の認知度	-1.30 →	-1.37	-0.07

### 満足度が0以上の項目(18項目)

○「(20)近所づきあいの有無(近所の方とあいさつをする)」が 1.36で評価は最も高くなっています。

○次いで評価が高いのは、「(6)差別がない日常生活」の1.04、「(16) ごみの減量など心がけた生活実施の有無」の0.79、「(2)亀山市に対する愛着」の0.78、「(1)住みやすさ」の0.74、「(24)広報既読の有無」の0.73、「(21)相談できる人の有無」の0.71となっています。

### 満足度が0以下の項目(10項目)

○「(26)市のシティプロモーション専用HP(ホームページ)利用の有無」が-1.75 で最も低く、これに次いで、「(28)まちづくり基本条例の認知度」の-1.37、「(27)市のイベントへの参加の有無」の-1.01が相対的に低く、これら3項目は-1.00を下回っています。

○「(4)老後が安心」は-0.90で、老後の生活に対しては不安を感じています。さらに、「(18)防災活動等への参加の有無」が-0.77、「(23)地域活動における役割の有無」が-0.76、「(14)地域行事、イベントへの参加の有無」が-0.75となっており、地域活動に関する項目については低評価となっています。

### 前回調査から評価得点が上昇(8項目)

○「(6)差別がない日常生活」は0.60から1.04と0.44ポイント上昇しており、上昇幅は最も大きくなっています。次いで、「(25)市HPの利用有無」と「(23)地域活動における役割の有無」はそれぞれ0.20ポイント、0.11ポイント上昇しています。

### 前回調査から評価得点が低下(20項目)

○低下の幅が大きいものをみていくと、順に、「(4)老後が安心」、「(7)現状に対する満足の有無」、「(9)仕事と生活のバランス」の3項目はマイナス0.15ポイント、「(8)仕事に対する満足感」及び「(10)日常の運動実施状況」の2項目はマイナス0.14ポイントとなっており、現状の生活・仕事、将来(老後)の生活、運動実施状況に関する項目が低下しています。

### (3-2)現状の評価(満足度)と今後の取組の重要度(重要度)

- 66の質問項目に対して、現状の評価(満足度)と今後の取組の重要度(重要度)それぞれに評価得点により数値化して評価をしています。
- 評価得点は、各指標の選択肢に対して、下記に示す点数をつけ得点合計を回答数で割って、平均点(評価得点)を算出しています。算出にあたっては、下記の式を用いています。なお、回答数は各項目における全回答数より無回答数、「わからない」と回答された数を差し引いた値です。

#### 【現状の評価(満足度)と今後の取組の重要度(重要度)の点数】

選択肢	現状の評価(満足度)	今後の取組の重要度(重要度)	点数
1	そう思う	重要	2
2	ややそう思う	やや重要	1
3	どちらともいえない	どちらともいえない	0
4	あまり思わない	あまり重要ではない	-1
5	そう思わない	重要でない	-2

#### 【評価得点算出式】

$$\text{満足度} = \frac{\begin{array}{l} \text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「ややそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{点} + \\ \text{「あまり思わない」} \times -1 \text{点} + \text{「そう思わない」} \times -2 \text{点} \end{array}}{\text{全回答数} - \text{無回答数} - \text{「わからない」}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重要」} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{点} + \\ \text{「あまり重要でない」} \times -1 \text{点} + \text{「重要でない」} \times -2 \text{点} \end{array}}{\text{全回答数} - \text{無回答数} - \text{「わからない」}}$$

○【満足度】と【重要度】の上位10項目、下位10項目は以下のとおりとなっています。



### (3-2-1)【満足度】上位10項目

NO.	評価項目	満足度
11	自然環境の豊かさ	1.12
27	安全でおいしい水道水の供給	1.00
14	生活排水の適切処理	0.91
37	図書館の充実	0.78
18	高速道路網の充実	0.74
31	消防・救急体制の充実	0.47
45	健康教室・各種健診の充実	0.46
19	幹線道路の充実	0.41
12	自然とふれあう機会の充実	0.38
44	歴史的まちなみの保存の推進	0.36

### (3-2-2)【満足度】下位10項目

NO.	評価項目	満足度
16	バスの利便性	-1.26
15	鉄道の利便性	-1.10
17	乗合タクシーの利便性	-1.05
4	外食店等の充実	-1.04
6	産学民官の連携	-1.01
5	余暇スペース等の充実	-1.00
23	魅力的な市街地形成	-0.72
54	若者参加のまちづくり	-0.72
55	移住・定住に関する取組の充実	-0.70
59	多文化共生に向けた交流機会の充実	-0.68

○66の質問項目全ての平均評価得点(満足度)は、**-0.12**となっています。

○評価得点が高い項目では、「**自然環境の豊かさ**」が1.12で最も高く、次いで「**安全でおいしい水道水の供給**」の1.00となっています。

○(1)定住意向に関する回答の結果と同じく「**自然環境の豊かさ**」が高く評価されています。

○一方で、バスや鉄道、乗合タクシーといった公共交通に関する項目の満足度が低くなっています。交通網に関しては、(1)定住意向に関する回答でも否定的な回答が高くなっており、満足度も低くなっています。

### (3-2-3)【重要度】上位10項目

NO.	評価項目	重要度
31	消防・救急体制の充実	1.71
<b>27</b>	<b>安全でおいしい水道水の供給</b>	<b>1.66</b>
28	防災体制・災害対策の充実	1.64
29	防犯対策が整っている	1.62
46	医療機関の充実	1.58
14	生活排水の適切処理	1.58
66	健全な財政運営の推進	1.56
30	交通安全対策の充実	1.54
3	買い物のしやすさ	1.53
33	学校教育内容の充実	1.52

### (3-2-4)【重要度】下位10項目

NO.	評価項目	重要度
21	リニア市内停車駅誘致の機運醸成	0.25
59	多文化共生に向けた交流機会の充実	0.46
57	ボランティア活動が活発	0.68
42	芸術・文化に関わる機会の充実	0.68
62	地域の個性の尊重	0.69
36	公民館等施設や行事内容の充実	0.70
4	外食店等の充実	0.73
56	地域住民同士の活動の充実	0.76
43	歴史・文化を生かしたまちづくりの推進	0.78
41	観光地としての魅力や観光施設の充実	0.80

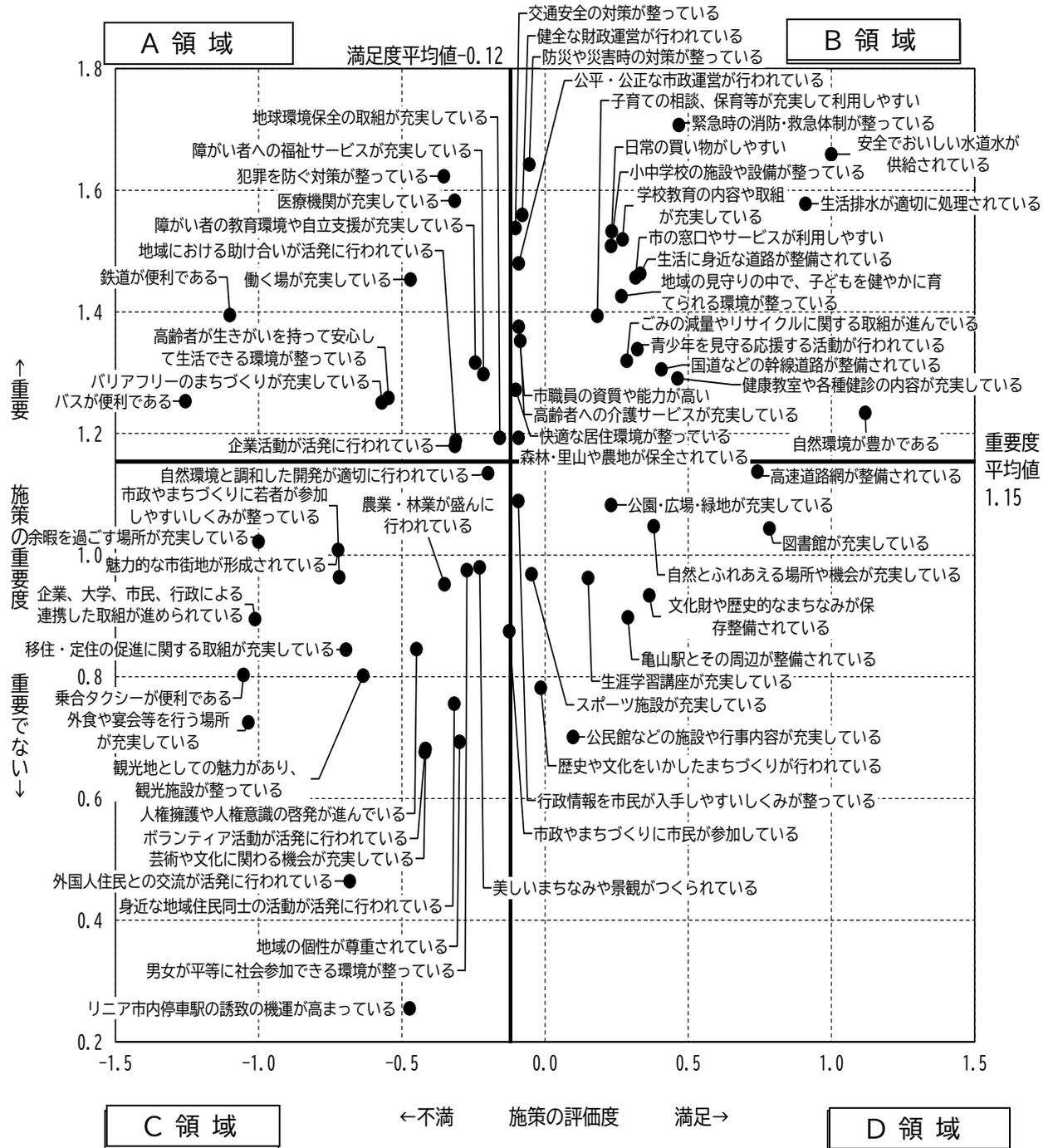
○66の質問項目全ての平均評価得点(重要度)は、**1.15**となっています。

○重要度が高い項目では、「消防救急体制の充実」が1.71で最も高く、次いで「安全でおいしい水道水の供給」の1.66となっています。

○「安全でおいしい水道水の供給」は、満足度とあわせて重要度も高くなっています。

○「リニア市内停車駅誘致の機運醸成」が、0.25で最も低くなっており、次いで、「多文化共生に向けた交流機会の充実」の0.46が続いています。

(3-3)満足度・重要度指数の散布図



- ・A領域:【重要度が高く、満足度が低い】
- ・B領域:【重要度が高く、満足度も高い】
- ・C領域:【重要度が低く、満足度も低い】
- ・D領域:【重要度が低く、満足度が高い】

## <市民アンケート【幸福度・満足度編(Well-Being)】>

### ●(4)地域幸福度(Well-Being)調査の結果について

- 地域幸福度(Well-Being)指標**とは、**主観指標**と**客観指標**のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感(Well-being)」を指標で数値化・可視化したもの。
- 地域における幸福度・生活満足度を計る**4つの設問**と、**3つの因子群(生活環境、地域の人間関係、自分らしい生き方)**から構成されています。

## ウェルビーイング (Well-being)

**＝「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」**

- 「健康とは、病気ではないとか、弱っていないというわけではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべて満たされた状態 (Well-being) にあること」(WHO)

## 健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health)

**＝「個人または集団の健康状態に違いをもたらす経済的、社会的状況のこと」**

- WHOソリッドファクト (2003年) に列挙された健康の社会的決定要因：社会格差、ストレス、幼児期、社会的排除、労働、失業、社会的支援、薬物依存、食品、交通
- 社会的決定要因とは、人間の健康には人間内面 (身体・精神・社会) のみならず、外部環境も影響を与えているとする

### (4-1)主観指標【アンケートによる主観データ】

- 主観指標**とは、各自治体が集めたアンケートデータをもとにしており、「幸福感(Well-Being)」を算出したものとなっています。時系列での比較に強いところが特徴としてあります。

## 主観 (ウェルビーイング) 評価指標 ～ 全50問

**地域における幸福度・生活満足度 (4)**

■ 現在、あなたどの程度幸せですか？

■ 現在、あなたの町内 (集落) の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？

■ 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしどの程度満足していますか。

■ 自分だけでなく、身近な周りの方も楽しい気持ちだと思いますか？

**生活環境 (16)**

**医療・福祉 (2)**

- 医療機関が充実している (利便性)
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

**買物・飲食 (2)**

- 日常の買い物に全く不便がない (利便性)
- 飲食を楽しめる場所が充実している

**住宅環境 (3)**

- 自宅には、心地よい居場所がある (居住空間)
- [逆]自宅の近辺では、騒音に悩まされている (秩序)
- 適度な費用で住居を確保できる

**移動・交通 (1)**

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

**遊び・娯楽 (1)**

- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

**子育て (2)**

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

**初等・中等教育 (2)**

- 教育環境 (小中高) が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

**地域行政 (2)**

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている (地域行政) (社会関係資本)
- 公共施設は使い勝手良く便利である (利便性)

**デジタル生活 (2)**

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

**公共空間 (2)**

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい (相性)
- まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

**都市景観 (1)**

- 自慢できる都市景観がある

**自然景観 (1)**

- 自慢できる自然景観がある

**自然の恵み (2)**

- 身近に自然を感じることができる (自然)
- 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる (自然)

**環境共生 (1)**

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

**自然災害 (1)**

- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりとれている。

**事故・犯罪 (2)**

- 防犯対策 (交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等) が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

**地域の人間関係 (2)**

**地域のつながり (5)**

- 私は同じ町内に住む人々を信頼している (社会関係資本)
- 地域活動 (自治会・地域行事・防災活動等) への市民参加が盛んである (社会関係資本)
- 困ったときに相談できる人が身近にいる (つながり・感謝) (社会関係資本)
- 町内の人が困っていたら手助けする (向社会的行動)
- このまちに愛着を持っている (一体感)

**多様性と寛容性 (5)**

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある (異質性・多様性)
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する (異質性・多様性) (過干渉・不寛容)
- 私は、町内 (集落) の人が自分をどう思っているかが気になる (一体感) (過干渉・不寛容)
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

**自分らしい生き方 (6)**

**自己効力感 (1)**

- 自分を好ましく感じる (一体感)

**健康状態 (2)**

- 身体的に健康な状態である (健康) (地域の幸福)
- 精神的に健康な状態である (健康) (地域の幸福)

**文化・芸術 (2)**

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい (ダイナミズム・誇り)
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい (多世代共創)

**教育機会の豊かさ (1)**

- 学びたいことを学べる機会がある

**雇用・所得 (2)**

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

**事業創造 (1)**

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある (ダイナミズム・誇り) (モチベーション)



## 地域幸福度(Well-Being)指標 ～ 偏差値

- 地域幸福度(Well-Being)指標では、偏差値化した主観指標・客観指標を使用します。
- 偏差値化の狙いは、まちの特徴をグラフの凹凸の形で読み取れるようにすることです。  
(計測単位の異なるKPI同士は、単純な数値の比較では特徴を読み取ることができません。例えば、交通事故件数1,000件(偏差値60)と、健康寿命75歳(偏差値50)は、数値同士では直接の比較はできませんが、偏差値化すれば比較可能です。)
- 客観指標は、人口10万人以上の自治体の数値をベースとした偏差値を算出しています。人口10万人未満の都市については、上記の都市の平均値と標準偏差を適用して偏差値を算出しています。数値の高い方が悪い状態を表す一部のKPI(交通事故件数等。該当KPIはKPIカタログ参照)については、数値が高いほど偏差値が低くなるように計算式を修正しています。
- 主観指標は、人口10万人以上かつ回答数100以上の自治体の数値をベースとした偏差値を算出しています。人口10万人未満または回答数100未満については、上記の都市の平均値と標準偏差を適用して偏差値を算出しています。
- 多くの人に馴染み深い「偏差値」という言葉が、「競争」や「ランキング」を想起させがちですが、自治体同士の過度な比較は避け、自身のまちの特徴を読み取ることを主目的としてください。

### ■ 偏差値計算式

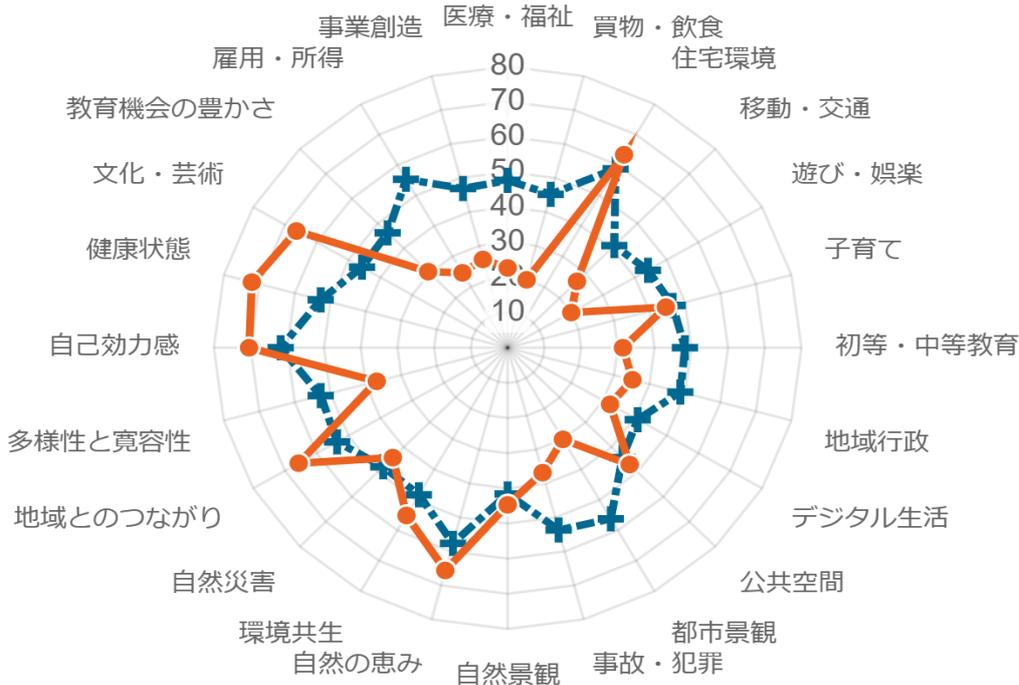
$$(\text{偏差値}) = \pm \frac{(\text{当該自治体の数値} - \text{平均値})}{(\text{標準偏差})} \times 10 + 50$$

(↑数値が高いほど悪い状態を表すKPIについてはマイナスを使用)

### (4-3-1) 亀山市のカテゴリー別レーダーチャート

※2024年度版(令和6年度版)Well-Being個別調査

- 主観データ
- - - 客観データ



#### (4-3-2)主観指標と客観指標の偏差値の差

##### ①【主観指標(偏差値)】が【客観指標(偏差値)】を上回っている項目

カテゴリー	主観指標	客観指標	差
文化・芸術	66.4	45.8	20.6
健康状態	72.1	52.7	19.4
地域とのつながり	65.7	53.6	12.1
自己効力感	70.4	61.8	8.6
自然の恵み	65.6	57.6	8.0

##### ②【主観指標(偏差値)】が【客観指標(偏差値)】を下まわっている項目

カテゴリー	主観指標	客観指標	差
雇用・所得	24.6	55.3	30.7
都市景観	30.1	56.2	26.1
買物・飲食	20.0	45.2	25.2
医療・福祉	22.7	47.6	24.9
遊び・娯楽	20.0	44.1	24.1

○主観指標における偏差値では、「健康状態」が72.1で最も高く、次いで「自己効力感」の70.4が続いています。「自然の恵み」は65.6と高い数値であり、「自然」については、定住意向や満足度、重要度と同じく高い割合となっています。「住宅環境」の偏差値は、主観指標、客観指標ともに高い数値となっています。

○「文化・芸術」は、主観指標(偏差値)が客観指標(偏差値)を20ポイント以上上回っています。

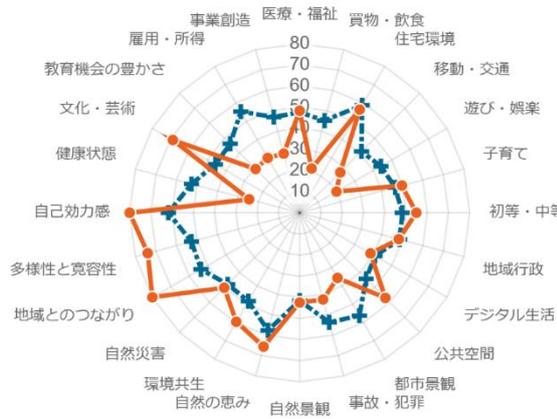
○「健康状態」や「地域とのつながり」については、主観指標(偏差値)が客観指標(偏差値)を10ポイント以上上回っています。

○一方、「雇用・所得」は、主観指標(偏差値)が客観指標(偏差値)を30ポイント以上下回っています。

○「都市景観」、「買物・飲食」、「医療・福祉」、「遊び・娯楽」等についても主観指標(偏差値)が客観指標(偏差値)を20ポイント以上下回っています。

### (4-3-3) 亀山市の年齢別レーダーチャート

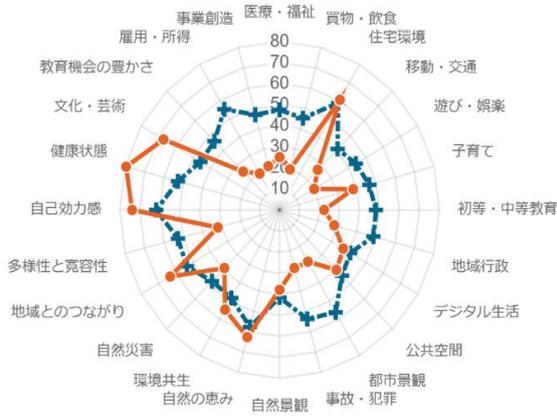
#### ■ 80 歳以上



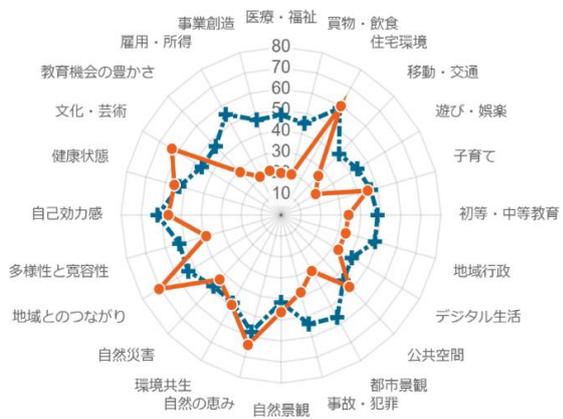
#### ■ 70 歳代



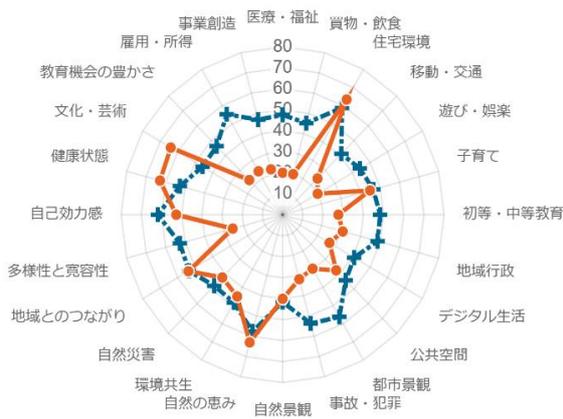
#### ■ 60 歳代



#### ■ 50 歳代



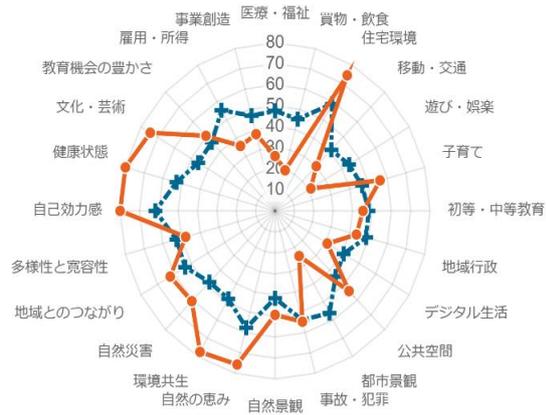
#### ■ 40 歳代



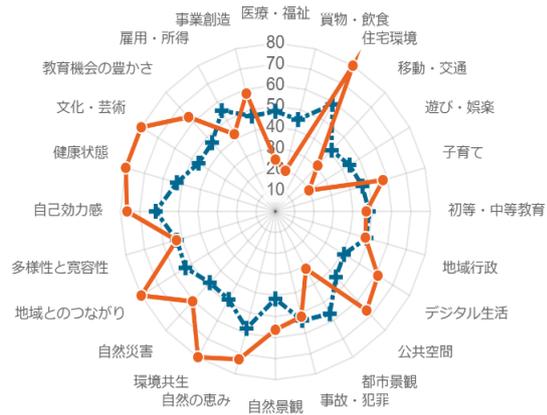
#### ■ 30 歳代



## ■20 歳代



## ■10 歳代



— 主観データ  
- - 客観データ

【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査

- 「地域とのつながり」は、10歳代の主観指標における偏差値では80.0と高い数値となっていますが、20歳代以上から40歳代の主観指標は50ポイント以上ではあるものの全年代の中では低い数値となっています。しかし、50歳代以上で再び高い数値(70ポイント以上)となり80歳以上では80.0となっています。
- 「自然の恵み」は、どの年代においても客観指標に比べて、主観指標が上回っており比較的高い数値(全年代が60ポイント以上)となっています。一方、「自然景観」については、「自然の恵み」に比べて低い数値(全年代平均が46ポイント以下)となっています。
- 「健康状態」は、80歳以上を除く全ての年代で客観指標よりも主観指標が高い数値となっています。「医療・福祉」は、80歳以上を除く全ての年代において、客観指標よりも主観指標が低い数値となっています。
- 「遊び・娯楽」「移動・交通」「買物・飲食」は、客観指標に比べて主観指標が低い数値となっており、全ての年代において低い数値(それぞれが平均30ポイント以下)となっています。
- 「子育て」は、10歳代から30歳代では、客観指標よりも主観指標が高い数値となっていますが、それ以上の年代では、80歳以上を除き、客観指標よりも低い数値となっています。

## 2. 地域・関係団体へのヒアリングの結果について

<地域まちづくり協議会へのヒアリング>

### 1. 趣旨

令和8年度を始期とする次期総合計画の策定に向けて、地域まちづくり協議会の活動における現状と今後の見通し、市のまちづくりに対する意見等を聴取する。

### 2. 実施期間・方法

- ・令和6年12月13日(金)～令和7年2月6日(木)
- ・全22地区の地域まちづくり協議会を訪問し、会長・役員等に1時間程度ヒアリング

### 3. ヒアリングにおける主な意見等

(1)地域まちづくり協議会等における地域活動の実施状況や今後の課題、コロナ禍後の変化

- ・コロナ禍の影響については、行事の長期休止を余儀なくされ、参加意識の低下がみられた。令和5年度以降、行事再開が進むも、参加率の回復が課題となっている。
- ・役員の負担と運営については、役員のうち、特に会長の業務が多忙であり、手当増額等の必要性が高まっている。
- ・地域まちづくり協議会と自治会の関係については、自治会からの役員選出が中心であるが、一部脱退の事例がある。一方、非参加自治会への個人会員受け入れのケースも存在している。
- ・防災対応については、自治会ごとの防災対応力の差が問題となっており、協議会と自治会の役割を明確化すべきとの意見もあった。
- ・担い手・後継者不足については、高齢者の就労増を背景に、役員など担い手の確保が困難となっており、手当の増額等で後継者確保を図る必要がある。
- ・まちづくり交付金については、まちづくり交付金の申請に関する負担が課題であるほか、担い手不足の解消に向け、役員手当の増額を望む声が多数あった。
- ・地域課題については、市街地周辺部においては、移動販売の存続危機や空き家問題への対応が課題である。
- ・今後の展望としては、市と地域まちづくり協議会との継続的な対話機会が求められているほか、市全体での担い手育成への取り組みが求められている。

(2)地域活動における他の団体等との連携や地域外からの必要な力

- ・地域まちづくり協議会と学校の連携については、地域全体で協力体制を築いている。特に、協議会の区域と学区が同一の場合は、より密な連携が取れている。
- ・市職員の地域支援については、市職員の対応不足や常駐を求める声があり、他市の事例を参考とした支援の検討が求められる。
- ・地域まちづくり協議会間の情報交換については、他地域の運営事例の共有のほか、後継者不足を考慮した研修内容への改善が求められている。

## < 亀山市社会福祉協議会(CSW)へのヒアリング >

### 1. 趣旨

令和8年度を始期とする次期総合計画の策定に向け、行政や地域が認識できていない課題を把握し、必要な施策・事業を検討するため、社会福祉協議会へのヒアリングを実施する。

### 2. 実施期間・方法

- ・ 令和7年1月28日(火)
- ・ 総合保健福祉センター「あいあい」を訪問し、1時間程度ヒアリング

### 3. ヒアリングにおける主な意見等

#### (1)CSW からみた、亀山市における地域の課題

- ・ CSWの配置により全市対応の体制が整い、「つながる」シートを活用した相談支援の整備が進む一方、CSWの人材育成・確保が課題となっている。
- ・ ひきこもりに関する事例は多く、支援を必要とする人へのアプローチが難しい。居場所づくりや地域活動への参加促進が必要であり、信頼関係の構築と選択肢拡充が重要。
- ・ 福祉教育を推進し、子どもたちの学びの機会を確保している。一方で新たな担い手として、PTA役員の経験者など若年層の地域関与の場が求められる。
- ・ 高齢者への実用的なデジタル支援が課題であり、亀山高校やコミュニティサロンとの連携が重要となる。

#### (2)次期総合計画に対する意見

- ・ 行政との良好な関係を維持しつつ、適度な距離感を保った協力体制を継続していく。
- ・ 公共交通の乗り換えなど日常的な移動を支援する仕組みが求められる。
- ・ 高齢化の進展とデジタル技術の浸透により、デジタル課題の将来的な変化が見込まれるため、長期的な対策が必要となる。
- ・ 教福連携を進めるためには情報共有の強化が課題であり、教員個人の力量に依存した現状を改善する福祉支援体制が必要である。

## < 亀山商工会議所へのヒアリング >

### 1. 趣旨

令和8年度を始期とする次期総合計画の策定に向け、市内外の産業動向や今後の課題を把握し、適切な施策・事業の検討につなげるため、亀山商工会議所へのヒアリングを実施する。

### 2. 実施期間・方法

- ・ 令和7年4月3日(木)
- ・ 亀山商工会議所を訪問し、会頭・副会頭・専務理事・参事・総務業務課長にヒアリング

### 3. ヒアリングにおける主な意見等

#### (1) 商工会議所からみた、亀山市における地域の課題

- ・ 人材不足が深刻化し、人口流入促進と求人情報の発信手段の検討が必要である。
- ・ 新たな工業団地の造成に向けては、水資源確保と民間企業との連携が不可欠である。
- ・ 後継者不在で M&A が増加しており、廃業防止に向け、事業承継等の仲介役の仕組みが求められる。
- ・ リニア三重県駅の整備に向け、投資家等による土地買収対策として、適切な用途地域の設定が必要である。

#### (2) 次期総合計画に対する意見

- ・ 広域交流の推進に向け、甲賀市など隣接市との交流促進とアクセス改善が重要となる。
- ・ 本市の魅力づくりと情報発信の強化に向け、SNSの活用や観光資源の新規開発が必要である。また、市内消費促進には宿泊施設の充実も必須である。
- ・ 商工会議所と市内企業との意見交換や懇談会、景況調査を通じて課題整理を進める。
- ・ 津波による災害リスクの低さなど、都市の安全性を積極的にPRし、都市開発を推進する。
- ・ DX・GX、BCP、SDGs の推進に向けては、小規模工場支援と企業の環境対応促進が求められる。
- ・ 更なるにぎわいの創出と持続可能なまちづくりに向け、商店街活性化と若者のまちづくり提案を推進していく必要がある。

### 3. 移住者へのヒアリングの結果について

#### <趣旨>

令和8年度を始期とする次期総合計画の策定に向け、市外から転入した市民を対象に、転入者の立場からの「暮らしやすさ」等についてヒアリング調査を実施し、移住者や転入者の視点を施策に反映させる機会を確保する。

#### <交流会参加者>

- ・ 亀山市 政策部 政策推進課 政策調整グループ
- ・ 移住・転入者、DOMA プロジェクト(空き家活用・関係人口創出トライアル)メンバー等 17名

#### <実施日時・場所・方法>

- ・ 令和7年1月29日(水)13:30~16:00
- ・ 旧田中家住宅(関町新所)
- ・ 移住者間の交流を図り、意見を聴取するほか、亀山市移住者アンケートによるヒアリングを実施。

#### <アンケート結果(回答数:9)>

##### 1)性別

- ・ 男性 7名 ・女性 2名

##### 2)年齢

	29歳以下	30歳~ 39歳	40歳~ 49歳	50歳~ 59歳	60歳~ 69歳	70歳以上
令和7年 1月1日現在	0	2	5	1	1	0

##### 3)移住してから亀山市に住んでいる期間

- ・ 最長:11年
- ・ 最短:5か月
- ・ 平均:4年8カ月

##### 4)移住前の住所地(都道府県)と出身地

- ・ 前住所:桑名市、四日市市、鈴鹿市、菰野町、愛知県、千葉県、神奈川県など
- ・ 出身地:亀山市、菰野町、宮城県、東京都、千葉県、愛知県、福岡県、宮崎県

##### 5)現在の住所地(町名)

- ・ みずほ台、安坂山町、関ヶ丘、下庄町、東町、加太、関町木崎、関町中町、関町新所

6)移住後の世帯構成

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親と子 (2世代)世帯	親と子と孫 (3世代)世帯	その他	無回答
世帯構成	2	2	5	0	0	0

7)現在の職業

	農林漁業	自営業	会社員 会社役員	公務員 団体職員	家事 従事者	パート アルバイト	学生	その他
職業	1	4	3	0	0	1	0	0

8)移住後の仕事の変化

	転勤	異動 なし	転職	起業	自営 (移住前と 同じ)	進学	退職	その他
仕事の変化	1	1	1	4	2	0	0	0

9)通勤・通学先

	亀山市内 (自宅含む)	県内市外	県外	就学・就業 していない
通勤・通学先	8	0	1	0

- ・ 県外の通勤先:東京都

10)移住を考えたきっかけ(複数回答)

- ・ 「自然の中で子育てがしたい」最も多い。(4)
- ・ 「田舎で暮らしたい」が次いで多い。(3)
- ・ 「地方で働きたい」(2)
- ・ 「定年後にのんびりしたい」(1)、「実家の近くに住みたい」(1)、「観光等で訪れて好きになった」(1)、「趣味に興じたい」(1)

11)亀山市以外の移住先の候補地

- ・ 「他市町は考えなかった」が最も多い。(6)
- ・ 他市町の候補地:津市、松阪市、伊勢市、東員町、三重県全域

12)亀山市に移住を決めた理由(複数回答)

- ・ 「生活環境が魅力」と「他都市へのアクセスの利便性」が最も多い。(4)
- ・ 「出身地だから」、「住みたい家があった」、「自然環境が魅力」が次いで多い。(2)
- ・ 「親戚が近くにいる」(1)、「子育て環境が魅力」(1)、「人が魅力」(1)、「親身に相談に乗ってもらったから」(1)

### 13-1)移住後の感想

理想通りの生活を送れている	理想とは違った
8	1

### 13-2)その理由

#### (理想通りの生活を送れている)

- ・「近所付き合い」(6)
- ・「自然環境」(5)
- ・「交通網(道路)」(3)
- ・「仕事」(2)
- ・「公共交通網」(1)、「趣味」(1)、「福祉(子ども)」(1)
- ・「その他」:人のご縁、人的交流(近所以外)

#### (理想とは違った)

- ・「自然環境」(1)
- ・「近所付き合い」(1)

### 14)移住を検討していた時に知りたかった情報(自由記述)

- ・ 空き家情報、子育て環境
- ・ 自治会のしきたりや独特の習慣など、田舎ならではの上手なやり取り
- ・ 医療
- ・ 不動産物件情報
- ・ 家のことやその周囲のこと

### 15)亀山市の情報を収集するのに有用だった媒体(複数回答)

- ・「移住相談窓口」(2)
- ・「市HP」(1)、「市SNS」(1)、「市窓口」(1)
- ・「その他」:移住サイト、地元の人々の情報、自力で人脈を広げた

### 16)その他、移住者からの意見

- ・ 出産、子ども病院、緊急の際に安心できる病院など医療機関の充実が望まれる。
- ・ 地域に貢献しようと起業をしたが、なかなか市役所とのつながりができない。
- ・ 子育て支援をもっと充実してほしい。
- ・ こういう機会があるとつながりができてうれしい。

## 4. 亀山の未来を考える「カメトーク」の結果について

### <趣旨>

令和8年度を始期とする次期総合計画の策定に向けて、市が普段、意見を聞く機会が乏しい若者世代の意見を聴取する。

### <参加者>

- ・ 亀山市 政策部 政策推進課 政策調整グループ
- ・ 一般社団法人地域問題研究所(第3次亀山市総合計画等策定業務委託 受託者)
- ・ 18歳から39歳の市民で、住民基本台帳から無作為抽出した 1,000 人に案内はがきを送付して参加を募った。当日は、21名(男性10名、女性11名)が参加。

### <実施日時・場所・方法>

- ・ 令和7年4月12日(土)10:00~12:00
- ・ 亀山市立図書館 1階 多目的室
- ・ 参加者を年齢順に3グループに区分し、それぞれのグループで意見交換を実施。最後に全員で意見の共有を行った。

### <意見交換のテーマ>

- ・ (テーマ1)亀山の居心地のよさ、わるさ
- ・ (テーマ2)10年後の亀山はこうなって欲しい

### <意見交換における主な意見等>

- ・ Aグループ(18歳~25歳:8名)、Bグループ(27歳~33歳:6名)、Cグループ(35歳~39歳:7名)と年齢層別に3グループつくりグループワーク(意見交換)を行いました。それぞれのテーマごとに出た意見は次のとおり整理しています。

### (1) 亀山の居心地のよさ

Aグループ (18～25歳)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 交通条件の良さ。とくに名古屋へ電車1本で行ける点は便利と評価。</li><li>・ 緑豊かな自然環境を高く評価。“のどか”“静か”をキーワードにあげている。</li><li>・ 地域イベントが多いこと、人がやさしいことなどを良い点と評価している。</li></ul>
Bグループ (27～33歳)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自然環境に加えて、公園や図書館など子育てしやすい環境を高く評価。</li><li>・ Aグループと同様に交通(車)の便、地域イベントが多いこと、ご近所の人との近い人間関係を亀山の良さとして評価している。</li></ul>
Cグループ (35～39歳)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子ども関連のイベントが多いことは良さの一つとして評価している。</li><li>・ 市のHP、LINEが見やすいなどの意見がみられた。</li></ul>

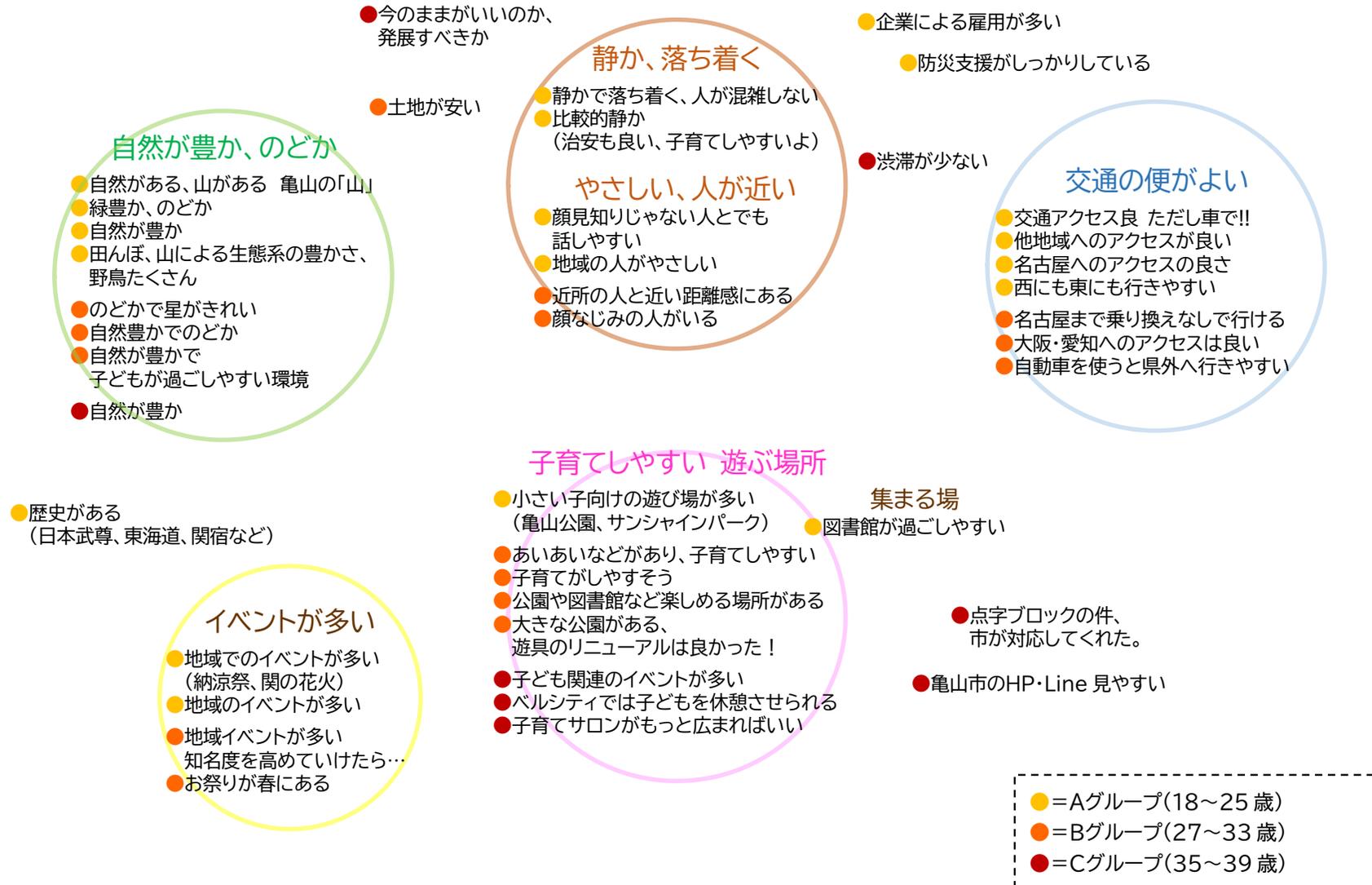
### (2) 亀山の居心地のわるさ

Aグループ (18～25歳)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1時間に1本しかない、乗継ぎが悪いなど公共交通への不満の意見が多い。</li><li>・ 若者向けの店舗が少なく、人が集まる場がない点を指摘している。</li><li>・ 地域情報が若者に届いていないこと、地域での人間関係が希薄化していることも悪い点と評価している。</li></ul>
Bグループ (27～33歳)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子育て世代として医療機関、店舗がないことをマイナス評価している。</li><li>・ 室内で子どもを遊ばせるところがないことを指摘する意見もある。</li><li>・ 公共交通の便の悪さ、自動車がないと移動しづらい点を指摘する意見も。</li></ul>
Cグループ (35～39歳)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 不登校児童・生徒の増加など、学校が様々な問題を抱えている点を指摘。</li><li>・ Bグループと同様に、屋根のある子どもの遊び場がないことを指摘。</li><li>・ 公共交通の便の悪さとともに、道路が安全でない点を指摘する意見あり。</li></ul>

(3)10年後の亀山はこうなって欲しい

Aグループ (18～25歳)	<ul style="list-style-type: none"><li>・人が集まれる場所、友だちと集まれる場所が欲しい。</li><li>・人口は増えて欲しいけれども、“のどか”“静か”“おもいやりがある”などのよさを残して欲しい。</li><li>・亀山らしさを残して、独自に発展して欲しい。</li></ul>
Bグループ (27～33歳)	<ul style="list-style-type: none"><li>・子育てしやすいまちになって欲しい。</li><li>・リニアをきっかけに、商業・観光などで活気あふれるまちになって欲しい。</li><li>・亀山の知名度アップ、魅力アップに向け、積極的なPRをして欲しい。</li><li>・道路の安全、街灯設置など、安全・安心なまちになって欲しい</li></ul>
Cグループ (35～39歳)	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校の先生のモチベーションアップを。先生が楽しければ子どもも楽しい。</li><li>・学校を良くして、行きたくなる学校にして欲しい。</li></ul>

## ◆ 亀山の居心地のよさ



## ◆ 亀山の居心地のわるさ

●悪いところがない

●今のままがいいのか、  
発展すべきか

### 自然を活かす

- 自然があるわりに活かし切れていない気がする

### 獣害

- キジ、シカ、サル、イノシシ、タヌキ、アライグマ
- サルやイノシシ、イタチなどがよくいる

### 進学校(高校)がない

- 進学に特化した高校がない
- 進学校に行く人が少ない
- 高校の選択肢が少ない

### アピール不足

- 関宿のアピールが足りないのでは(川越の町並み)

### 情報 届かない

- イベントの情報はSNSを通してでは得にくい
- イベントはたくさんあるが知らないことが多い
- 10代後半・20代に情報が届かない!
- 間違った情報(うわさ)が流れることがある
- 子育て関連のイベント・居場所を周知する  
→飲食店で周知活動
- 行政サービスの周知を

### 学校問題

- 小さいまちなので学校が少なく、  
保育者・教育者の精神的負担に
- コロナ以降、不登校増加
- 中学校の給食化を

### 地域力の低下

- 地域との関係性が希薄化している
- 過疎化が進み、  
地域活動が縮小化している

### 集まる場 遊ぶ場所がない

- 遊べるところが少ない  
(大きなショッピングモールとかがない)
- “飲み場”が少ない、食べ物も…、  
スナック・バーとかは多め、  
年齢層高めのスナックしかない
- 若者向け娯楽施設が少ない  
カラオケとか、ゲームセンターとか
- 「〇〇」がほしい! でも、  
買えるお店がない

### 子どもの遊び場が少ない、ほしい

- 雨でも屋内で子どもを遊ばせるところが少ない
- 市立図書館のWi-Fiが1日2時間までなのは短い!
- 屋根のある子どもの遊び場が少ない
- 体操教室を亀山にも(広めてほしい)
- あいあいが平日だけ…(子どもを連れていけない)

- 外国人のひき逃げがあった
- 市役所の雰囲気が悪い

## 交通の便のわるさ

- 車がないと移動が難しい
- 交通機関の本数が少ない  
1時間に1本(亀山⇄名古屋)、  
駅までの交通が不便
- 公共交通機関が増えてほしい 電車の本数
- 便利ではあるが、公共交通機関の本数が少ない
- 高校に行くのが交通的に不便(何本も乗り換える)
- 生活するのに車が必須(老後が心配)
- 観光案内するにも交通の便が悪い

- 自動車がないと大変、しんどい
- 買い物に行きたくても自動車が必要
- 電車・バスの本数が少ない
- 公共交通の便が悪い(鈴鹿方面への移動)
- バスのルート・エリアをもっと拡大させてほしい

- 交通面の不安・車ありき
- 道路の安全性:歩道と車道が一緒

- 移動手段→人が  
集まらない

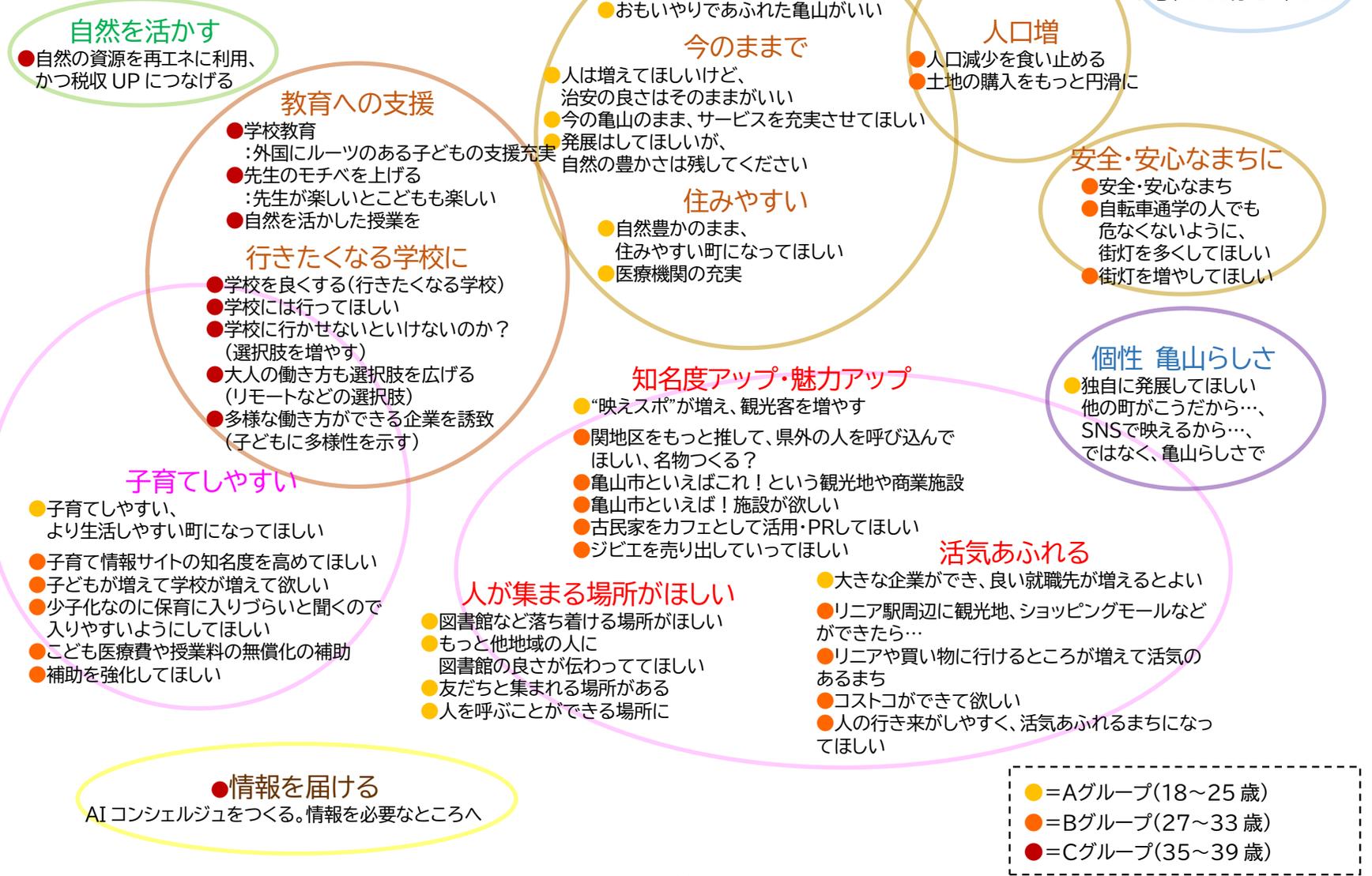
- 借りれる家を。  
空家の有効活用

- 街灯が少なく、夜が暗い
- 電波が悪い

- 点字ブロックがあっても行きたいところにいけない!!
- ユニバーサルデザインに(新庁舎にも)。

- =Aグループ(18~25歳)
- =Bグループ(27~33歳)
- =Cグループ(35~39歳)

# ◆ 10年後の亀山はこうなって欲しい



## 5. 次期総合計画策定に向けた「市民フォーラム」の結果について

### <趣旨>

令和8年度を始期とする次期総合計画の策定に向けて、将来の理想のまちの姿を描き、その実現に向けて話し合う場として開催。

### <参加者>

- ・ 亀山市 政策部 政策推進課 政策調整グループ
- ・ 一般社団法人地域問題研究所(第3次亀山市総合計画等策定業務委託 受託者)
- ・ 令和7年4月1日時点で満15歳以上の人、市内に居住、在勤、在学または事務所(事業所)を有する人を対象に参加を募った。当日は、高校生から70代までの20名が参加。

### <実施日時・場所・方法>

- ・ 令和7年5月25日(日)13:30~16:00
- ・ 亀山市立図書館1階 多目的室
- ・ 参加者を3グループに区分し、それぞれのグループで意見交換を実施。最後に全員で意見の共有を行った。

### <意見交換のテーマ>

- ・ (テーマ1)亀山の推しと惜しい
- ・ (テーマ2)10年後の亀山市のまちの姿

### <意見交換における主な意見等>

- ・ Aグループ、Bグループ、Cグループと3グループつくりグループワーク(意見交換)を行いました。それぞれのテーマごとに出た意見は次のとおり整理しています。

(1) 亀山の推しと惜しい

・Aグループ

[推し]	<ul style="list-style-type: none"><li>・関の山車</li><li>・自然環境</li><li>・駅周辺の施設 …… 駅前が整備された。図書館ができた。</li><li>・関宿 …… 最近、レストランなどができて案内しやすくなった。</li><li>・飲食店 …… 飲食店が少ないと言われるが、個性的な飲食店が増えてきた。</li><li>・若くエネルギーにあふれた人がいる。</li></ul>
[惜しい]	<ul style="list-style-type: none"><li>・PR力</li><li>・決定の情報透明性 …… 市民の意見を聞いた後、施策にどうつながっているの？</li><li>・駅から遠いところには施設が少ない</li><li>・子どもの権利条例</li><li>・電車 …… 飲み会に出かけたときに帰りの電車がいない。</li><li>・市内集約型</li></ul>

・Bグループ

[推し]	<ul style="list-style-type: none"><li>・自然が多い</li><li>・駅のロータリーがきれいになった。</li></ul>
[惜しい]	<ul style="list-style-type: none"><li>・車がないと不便</li><li>・バスの本数が少ない</li><li>・電車の本数が少ない</li><li>・電車の乗客・車・マナーが悪い</li><li>・1番をとれるもの、コレといったものがない。</li></ul>

・Cグループ

[推し]	<ul style="list-style-type: none"><li>・どこへでも行きやすい。(駅・高速)</li><li>・関のまち</li><li>・歴史的な池がある</li><li>・歴史と環境はすばらしい。</li><li>・子育て支援が充実</li><li>・おいしい豚肉</li></ul>
[惜しい]	<ul style="list-style-type: none"><li>・逆に亀山市に遊べる場所がない。</li><li>・ショッピングできる場所が少ない</li><li>・工場。売りが弱い</li><li>・交通の利便性を生かしきれていない</li><li>・ペットボトル、ごみが落ちている</li><li>・大学がない</li></ul>

## (2) 10年後の亀山市のまちな姿

### 技術の活用・歳入の拡大

- 超スピーディな時代の流れを踏まえ、未来の技術を活用
- 歴史的なお祭り  
→未来の技術で疑似体験
- 市の歳入を増加  
(観光、ネーミングライツ)

### 亀山市の魅力

- 加太地区では駅を交流拠点として活用
- 地区ならではの魅力があり、移住者も増加
- 津や鈴鹿とは違う魅力がある
- みんながすごいと思える・感動を共有
- 文化や活動を伴って継続的にぎわいを
- 亀山の名産物を市民が大事にする

### 娯楽の拠点・場所

- 中高生が服を買ったり、カラオケしたりできるたまり場となる場所をつくる
- 図書館や児童センターなど公共施設を活用
- カラオケ、スポーツ、カルチャースクール等
- マルチに使える、気兼ねなく使える貸しスペース、フリースペースがある施設
- 人がたくさん 動きがたくさん
- 気軽に使える体育館があるといい

### 都市空間・生活の利便性

- 各地区に買い物ができる場所が必要
- コンパクトシティの実現。各地区が便利になるように。
- 高齢者が集まるカフェのような場所

### 交通利便性の向上

- 交通については 時間帯・地域・対象者によって利便性の評価が異なる
- 高校生の足になるように交通を充実
- バスと電車の乗り継ぎが悪い・遅延あり

### 歴史・文化資源の保全・活用

- 関宿は、重要伝統的建造物群保存地区選定されて40周年
- ロケ地として活用できる景観スポットはたくさんあるので撮影都市としてPR
- 関宿は何もない良さ、流行に乗りすぎないにぎわいか資源
- 若い人が楽しめる、遊べる

### 自然資源の保全・活用

- 長期的な循環の仕組み  
山の管理⇔公園の遊具を木製に  
⇔メンテナンスはシルバー人材(雇用創出)
- 石水溪が好きなので、残したい。

### 働く場の確保

- 住み続けたくても働きたい業種がない
- 大きな会社で働き、安定した生活がしたい
- 市内企業の強みが控えめ、アピール不足…?

### 農業の持続

- 学校給食  
地域の農産物の活用、有機食材の導入
- 地産地消を取り入れる
- 獣害対策と景観の関係も大事だが、被害が深刻化
- 農業維持のため働く場としての提供などを考える

### こどもの育ち・学び

- しっかりとしたこどもの権利条例の制定を
- 学童保育の指導員不足
- AI、コンピュータなどの教育
- 一人ひとりができることを 特徴を伸ばす

### 地域・団体間のつながり

- それぞれの地域のことを知り合うことが大事
- 地域まちづくり協議会間で共通の課題に取り組むことも必要
- 市内に良い取組をしている団体はたくさんあるが相互の交流は少なくつながっていない
- 市民団体を“つなぐ” 中間支援組織が必要
- 人と人とのつながり 昔と比べて希薄に
- ぬくもりのないまちでは いい人生を歩みづらい  
→適度な距離感、ゆるやかなつながり

### 意見の交流・つながり

- もっと頻繁にみんなが話し合える、気軽に集まれる場が必要
- “遊び” 的に、楽しく、市民・民間事業所・民間団体等との協力関係の構築
- 市民からの意見聴取の場を継続的&大規模に実施

### 医療に強いまち

- 医療は不可欠だが、亀山市は弱い

- = Aチーム
- = Bチーム
- = Cチーム

### (3)全体ディスカッション

#### ■つながりについて／これからのまちづくりについて

- ・ 環境、農業など施策のつながりが重要
- ・ 部署間、市民、事業者と行政のつながり  
(総力をあげてまちづくりを)
- ・ 大企業の誘致ではなく地元の魅力をつなげる
- ・ 10年後、人口が減っていく。市としてお金をもうける取り組みも大事。
- ・ 観光ふるさと納税、ネーミングライツ
- ・ 亀山の人口を増やすため、いいまちになるため頑張っていこう。
- ・ “あるもの“を再発見・再評価、つなぎ合わせてみなさんといいまちに。

### (4)その他

■市民フォーラム開催にあたり、事前に以下のテーマで市民から広く意見募集をしました。その内容について、参考として報告します。

#### <募集テーマ>

- ・ (テーマ1)あなたは10年後、亀山市がどういうまちであってほしいですか(理想のまちの姿)?
- ・ (テーマ2)まちづくりのため、あなたが取り組めること、関われることは何ですか?

# ◆ あなたは10年後、亀山市がどういうまちであってほしいですか(理想のまちの姿)?

## 自然が豊か、のどか

- 自然が豊かなままであってほしい
- 豊かな自然に恵まれたまち
- 自然があり、経済的にも栄えているまち
- 自然が多く大人や子ども、みんながリフレッシュできて、自然のよさが感じられる場所
- 程よく田舎
- 渋滞もほとんどなく、自然の景観が残っていてほしい
- 自然豊かなまち
- 自然と一緒に暮らせるまち、自然の恵みを活かしたまち。そこにリニアは不要
- 緑豊かな誰もが住みやすいまち
- 田園風景が見られるまち

## 農業

- 新規担い手農家に対して積極的に補助を出し農業によって亀山が元気になるまち
- 宅地地開発しないで、農業が盛んで、無農薬栽培で、地産地消のまち
- 子どもがたくさんいて、子育てしやすく自然豊かなまち
- 子どもがのびのび遊べる自然の遊び場や季節の体験が充実しているような、そんな“ちよどい田舎”な魅力があるとよい
- 歴史的風景と自然豊かなまちがきれいに残っており、若者がやりたいことを積極的にできるまち

## 健康

- 健康都市(亀山市に住んで健康に過ごせて良かったと思えるまち)
- 筋トレが気軽にできるまち
- 働きがいのある職場、企業がたくさんある

## 交通の便がよい

- 医療体制安定や公共交通機関がさらに充実してほしい
- 道路及び鉄道を生かした都市計画が必要
- 自家用車以外の交通手段が使いやすくなっているまち
- もう少し発展してほしい。利便性が悪すぎて老後が心配
- 車に乗れない人も移動に困らないまちになると良いと思います
- 交通の便利が良く大都市へ気軽に行ける
- 公共交通機関網が整備され高齢者が異動しやすい

## 子育てしやすい 遊ぶ場所

- 子どもたちを始めとした市民が幸福度を高く感じる住みやすさを実感するまち
- 小中高の子どもたちが遊べる場所が市内にないのはかなりの損失だと思う。鈴鹿は近いけれど、自転車で行くにはリスクが大きすぎるため早急に解決してほしい。
- 保育園や学校の老朽化をなくし、きれいな施設で子どもたちが学べるようにしてほしい
- 子育て支援が充実している(ミルク、おむつ代の割引等)まち
- 子育てがしやすいまち
- 子どもに優しいまち
- 子どもが多いまち

## 高齢者

- 介護福祉施設が充実して安心して暮らせる
- 高齢者が役割を持って元気に生活出来るまち
- 高齢者や子どもなどが住みやすいまちで商店街のシャッター通りをなくす

## 暮らしやすさ

- 毎日を楽しむまち、亀山
- ちょっと良いが積み重なっているまち
- 活気のあるまち
- みんながイキイキしているまち
- 誰もが過ごしやすいまち
- 住み心地が良いまち
- 誰もが安心して生活できるまち
- 市民の暮らしと安全を第一にするまち(気候・人権・戦争)
- 孤独な一人暮らしにならない市になってほしい
- 困った時に気軽に相談できる場所がほしい

## 若者

- 若者が積極的に参画できるまち
- 若者がたくさんいるまち
- 若者が生き生きと暮らせるまち
- 若い世代が住みやすく活気がある
- 大人も子どもも楽しめる、おしゃれなイベントが増えてほしい

## まちづくり 行政

- 中心部と周辺部では環境が違うので、各地域にあったまちづくり計画の策定が必要であり、この計画に基づいて住民が取り組むことで亀山市として総合的な発展が期待できる
- 税金の恩恵を感じられるまち
- 市民の声を聞き話し合える民主的なまち
- 行政と市議会が共に考え、より良い政策を実施するまち
- 個々の政策が矛盾しないまちづくり

## 歴史・文化

- 伝統文化を残し発展させ次世代へつなげていけるまち
- 歴史と風土を大切にし、文化芸術活動が盛んなまち、亀山
- 古き良きを守るだけでなく、他市に劣らないような勢いがある市政であってほしい

- すべての人の人権が大切にされるまち
- 多様性が尊重される社会

# ◆ まちづくりのため、あなたが取り組めること、関われることは何ですか？

